

取扱説明書

E Vパワー・ステーション[®]
VSG3-666CN7

このたびは、E Vパワー・ステーションをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。
また、保証書とともに大切に保管してください。

もくじ

EV パワー・ステーション (EVPS) の特長	6
EV パワー・ステーションに備えられている機能	6
運転機能	6
操作種類	7
EV パワー・ステーション接続対応車種	7
車両についての注意事項	7
安全上のご注意	8
免責事項	10
取り扱い上のお願ひ	11
設置場所について	11
最低離隔距離	11
据置設置	11
壁掛設置	11
EVPS 使用時のお願い	12
太陽光発電システムなどを後から設置するとき	12
EVPS との連携機能があるパワーコンディショナを設置する場合	12
ご家庭の契約容量を変更されるとき	12
各部の名称と働き	13
パワーユニット	13
据置設置	13
壁掛設置	13
プラグホルダ (操作パネル)	14
壁掛設置	14
ポール設置	14
充放電コネクタ	15
自動切替開閉器	15
スマホアプリ画面	16
室内リモコン (オプション品)	17
室内リモコン画面	18
12 V 電源ケーブル (12m)	19
充放電コネクタ緊急離脱工具 (取扱説明書付)	19

ご使用になる前の準備	20
無線 LAN (Wi-Fi) ルーターとの接続	20
無線 LAN (Wi-Fi) ルーターご使用上の注意	20
スマートフォン接続に関する注意	20
必要なネットワーク環境	20
スマホアプリの準備	21
スマホアプリをインストールする	21
スマホアプリの制約事項	21
車両と接続 / 取り外しをする	22
車両に接続 (コネクタロック) する	22
車両から取り外す (コネクタロック解除)	24
充電 / 放電をする	26
充電する前に	26
充電を開始する	26
充電を停止する	28
放電する前に	29
放電を開始する	29
放電を停止する	31
タイマー予約操作をする	32
運転種別について	32
タイマー時間の上限値	33
タイマー設定の構成	33
スマホアプリでタイマーを設定する	34
室内リモコン (オプション品) でタイマーを設定する	35
タイマー運転中に運転を停止する	36
タイマー設定時間中に動作を再開する	37
停電時に使用する (自立運転)	38
自立運転する前に	38
自立運転切替設定について	38
停電時の家電製品の使用について	38
自立運転時に系統連系機器 [※] がある場合	39
停電が復旧したら	39
停電時に自立運転を開始する	39

停電時に自立運転を停止する	41
本体の設定をする	42
本体設定項目について	42
履歴を確認する	44
スマホアプリで履歴を表示する	44
スマホアプリで停止理由（エラー履歴）を確認する	44
室内リモコンで履歴を表示する	45
室内リモコンで停止理由（エラー履歴）を確認する	45
EVPS controller の設定	46
室内リモコンの設定	47
その他の操作	48
電源を入れる	48
電源を切る	48
非常停止する	48
非常停止から復帰する	48
システムリセットする	48
自立運転の試運転をする	49
自立運転の試運転を停止する	51
こんなときは	52
コネクタがロックできない	52
運転しない / できない	52
充電電力が少ない	53
放電電力が少ない	53
余剰電力充電で電池残量が増えない / 減ることがある	53
充電率 100% まで充電できない	53
ブレーカが頻繁に落ちる	53
契約電力を変更するとき	53
車両が満充電後、放電できない	53
アプリが繋がらない	53
コネクタのロックが解除できない	54
室内リモコンが動かなくなったとき	54
充放電コネクタが取り外せなくなったとき	54

エラーコードによる対処方法.....	56
保証とアフターサービス.....	57
保証について.....	57
アフターサービスについて.....	57
製品についてのお問い合わせ.....	57
機器仕様.....	58
パワーユニット、プラグホルダ.....	58
自動切替開閉器.....	59
室内リモコン（オプション品）.....	59
ソフトウェアライセンスについて.....	59

EV パワー・ステーション（EVPS）の特長

EV パワー・ステーション（EVPS）とは、ニチコン製 V2H（= Vehicle to Home）のことであり、電力会社からの電力や太陽光発電の電力を EVPS 経由で電気自動車に蓄えて、ご家庭の電気として使用する変換器のことです。

- 通常時には電力会社からの電力や太陽光で発電した電力を車両に充電して、電力使用量の多い時間帯（ピーク時間値）には車両に蓄えられた電力を取り出し家庭負荷に供給するなどのエネルギーマネジメントが可能です。
- 災害などで停電になったときは、車両に蓄えられた電力を取り出して家庭に供給できます。
- 本取扱説明書では本機を以後、EVPS と呼称します。

EV パワー・ステーションに備えられている機能

運転機能

充電

系統からの電力（太陽光発電などの余剰電力があるときは余剰電力を含む）を車両に充電します。

インテリ・充電制御

充電時に家庭の消費電力を監視して、家庭のブレーカを落とさないように充電電力を制御する機能です。

放電

車両に蓄えられた電力を取り出して、家庭に放電する機能です。

インテリ・放電制御、インテリ・グリーン制御

家庭の消費電力を監視し、消費電力に応じて放電動作の開始 / 停止を制御する機能です。

タイマー充電 / 放電

設定した曜日、時間帯に動作を開始 / 停止します。

グリーントイマー

設定した曜日、時間帯に太陽光発電の余剰電力が発生したときに余剰電力を車両に充電して、家庭の消費電力が多くなったときは家庭に放電する機能です。

余剰電力充電タイマー

設定した曜日、時間帯に太陽光発電の余剰電力が発生したときに、余剰電力を車両に充電する機能です。

自立運転切替設定

EVPS がコネクタロックおよび充放電をしているときに停電が発生すると、自動で自立運転を開始する機能です。

自立運転

停電時に車両に蓄えられた電力を取り出して、家庭に放電します。100/200 V の出力が可能です。また、太陽光発電の余剰電力を車両に充電します。

操作種類

プラグホルダ（操作パネル）

プラグホルダの操作パネルで、直接、機器側からのコネクタロック / アンロック、充電、放電、停止操作ができます。

スマホアプリ

お手持ちのスマートフォンに専用アプリをインストールすると、室内から各種操作、設定、履歴の確認ができます。

- ご自宅の無線ルータを経由します。環境やスマートフォンの機種によっては安定して接続ができなかったり、設定変更が必要になることがあります。

室内リモコン（オプション品）

ご家庭に設置した専用リモコンで各種操作、設定、履歴の確認ができます。

HEMS

ご家庭に設置された HEMS コントローラから EVPS に指令を送信することで、EVPS を制御できます。

- ご使用の HEMS によっては EVPS が制御できないことがあります。詳しくは HEMS の取扱説明書をご確認ください。

EV パワー・ステーション接続対応車種

- 今後発売される、すべての車両接続をお約束するものではありません。
- EVPS 対応車種の最新情報は、弊社ホームページをご確認ください。接続確認ができた車両については、順次弊社ホームページで公開します。QR コードから弊社ホームページにアクセスできます。
— すべての EV や PHEV が対象ではなく、CHAdeMO に基づいた放電対応車両が対象となります。



- EVPS をご使用になる前に、接続する車両の取扱説明書をご確認ください。
- 自立運転を行う際に EVPS を起動するための電源供給は、付属の 12 V 電源ケーブルを使用する車両と充放電コネクタから直接供給される車両があります。車両の操作を含め、接続する車両の取扱説明書をご確認ください。
- ご使用になる車種にあわせて【接続車両】（43 ページ）を設定してください。

車両についての注意事項

- 放電非対応車は、EVPS を使用できません。
- 弊社ホームページに掲載している車種以外の動作は確認できていません。
- EVPS で充放電をしているときは、車両側でも各種システム（バッテリー保護機能など）が起動しているため、車両側で数百 W（車両によって異なります）の電力を消費します。
- 車両側にも各種設定（充電の上限設定など）や機能（タイマー充電など）がありますが、EVPS をご使用のときは EVPS 側の設定機能を使用してください。
- 車両によってはバッテリー性能維持のため、定期的な普通充電の使用が推奨されていることがあります。
- 車両からの指示で EVPS の充電電力が抑制されたり、充放電が設定値より早く停止することがあります。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した事項は、安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ずお守りください。
- 内容に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。

ここに示した事項は、△警告 △注意に区分しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う危険が想定される事項、および物的損害のみの発生が想定される事項。

絵表示については次のような意味があります。

	* 必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示		* 感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	* 一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告		* 分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	* 一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		

△ 警告



**ペースメーカー・ICD
をご使用の方へ**

**充電中、放電中は
近づかないでください**

ペースメーカーおよびICDの動作に一時的な影響を与える場合があります

	取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社に依頼する 不備があった場合、感電や火災のおそれがあります。		充放電ケーブルを踏む、上に物を置く、ひきするなどしない ケーブルが損傷し、火災や感電のおそれがあります。
	煙が出る、変なにおいがする場合は、本製品には近づかず、V2H 分岐用ブレーカを【OFF】にする そのまま使用すると、火災の原因となります。すみやかに販売会社にご連絡ください。		人命に直接かかわる医療機器などは接続しない 身体の安全を損ねる場合があります。
	子供に操作させない 感電、やけど、火災のおそれがあります。		子供を近づけない 感電・やけど・火災のおそれがあります。

警告



本製品の近く（60cm 以内）に可燃性ガスや引火物を近くに置かない
電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。



充放電コネクタを落下させない
装置が破損して感電や火災の原因となります。



温泉・火山など、腐食性ガスがかかる場所には設置しない（標準モデル、重塩害モデル）
装置が破損する原因となります。



本製品のフロントパネルなど機器を開けない
内部に電圧の高い部分があります。感電のおそれがあります。



充放電コネクタの金属接点に触れたり、なめたりしない
高い電圧が加わり感電のおそれがあります。



落雷のおそれがあるときや、雷が鳴り出したときは使用しない
落雷による感電などのおそれがあります。



充放電コネクタやケーブルの割れ、欠けなどを発見した場合や異常が発生した場合は、直ちに使用を中止する



製品に車をぶつけたり、蹴ったりして強い衝撃を与えない
変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。



吸排気口などに物（金属、紙、水など）を差し込んだり中に入れたりしない
火災・感電・故障の原因となります。



本製品の上に乗ったり、座ったり、プラグホルダにぶらさがったり、物を置かない
機器が変形・脱落し、けが・感電・故障のおそれがあります。



充放電コネクタを引っ張らない、無理な力を加えない
装置が破損して、感電・故障の原因になります。



分解・改造しない
感電や傷害を負うおそれがあります。



充放電コネクタを車両に接続する場合は、ぬれないようにする
感電・故障のおそれがあります。



充放電コネクタをぬれた手で触らない
感電のおそれがあります。



日常点検は確実にを行う



充放電ケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は、ドライヤーまたはぬるま湯で解凍してから使用する
充放電コネクタの電極部にお湯がかからないように注意してください。

注意



本製品の近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない
引火し、やけど・火災の原因となることがあります。



動作中に車両を移動させない
装置が破損して感電の原因となります。



シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない
装置の変色原因となります。



本システムの近くでテレビやラジオ、無線などを使用しない
テレビの画面が乱れる、ラジオ、無線に雑音が入ることがあります。
受信している電波の弱い場所では、電磁障害を受けるおそれがあります。



夏季の高温時や冬季の低温時に、充放電コネクタおよび本体に素手でさわらない
火傷の原因になります。



エラーコードが連続的に表示されている状態のまま放置しない



廃棄処理・リサイクルについて
使用後、すみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。
廃棄費用はお客様負担となります。



本システムや配線などから発生する電氣的雑音、近隣のアマチュア無線通信やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。

⚠ 注意



充放電コネクタケーブル、12V 電源ケーブルに引っ掛からないようにする
転倒、けがの原因となります。



転倒したり水没した場合は、不用意に近づいたり、触らないで、点検を受けてください
電気配線に異常がある場合は、火災・感電・故障の原因となります。



充放電コネクタケーブル、12V 電源ケーブルにぶら下からない
装置が破損して感電や火災の原因となります。



放熱口を塞いだり放熱口付近に荷物を置いたりしない
温度上昇により本体が自動停止する可能性があります。



装置を高圧洗浄機で洗浄しない
感電や故障の原因となります。



使用後、充放電コネクタをコネクタホルダに収納する
放置した場合、感電、火災、けがの原因になります。また、車両が充放電コネクタに乗り上げてコネクタを破損するおそれがあります。



機器に異常、破損、腐食、錆、ネジゆるみ、吸排気口ふさが、スイッチ破損、アンカーボルトのゆるみなどがないか日常点検をする
装置の故障の原因となります。



落雪などで本体の放熱口が塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲いなどの処置を行う
温度上昇により本体が自動停止する可能性があります。



本体の周りに毛布などを置かないようにし、本体の周りにスペースを確保する
本体が高温になり、動作が停止する、または寿命が短くなる可能性があります。



操作パネルのボタンに異物を挟み込まない
故障の原因となります。

免責事項

- お客様もしくは第三者が本機の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、それらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。
- 本機の使用に際して接続した機器の故障などの補償や、本機の故障によって生じた本機以外の直接、間接の損害について、当社は一切その責任を負いません。
- 本機の不具合など何らかの原因で車両内記憶装置、外部メディア、記録機器などに記録ができなかったときや、それらの既に記録されていた機器内容が破損、消滅したときなど、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いません。

取り扱い上のお願い

設置場所について

共通

■次のような場所には取り付けない

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">☐ 標高 2000 m より高いところ☐ 岩礁隣接地域☐ 重塩害地域（重塩害モデル除く）☐ 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ☐ 振動、衝撃の影響が大きいところ☐ 油蒸気のあるところ☐ 浸水のおそれがあるところ☐ 電界の影響が大きいところ☐ 風通しが悪いところ☐ 結露および氷結のあるところ☐ 直射日光が長時間当たるところ☐ 系統電力のないところ | <ul style="list-style-type: none">☐ 次の温度範囲以外のところでは、動作を停止することがあります。
温度：－20℃～＋50℃☐ 建物の屋根などから雪庇、つららなどが落下するところ☐ 積雪がある地域 <p>下記の対策をすることで、取り付けが可能となります。</p> <ul style="list-style-type: none">・雪囲いや、雪が積もったり、吹き込んだりしない場所への設置など、積雪への対応をしてください。・雪囲いを設置する場合は、製品の周りにスペースを確保してください。 <p>特に、パワーユニットの放熱口を塞がないようにしてください。</p> |
|---|---|

- 製品背面の放熱口に異常があるときや気温が高いとき、直射日光が当たっているときは、出力を抑制する可能性があります。直射日光が当たりにくい場所に設置してください。

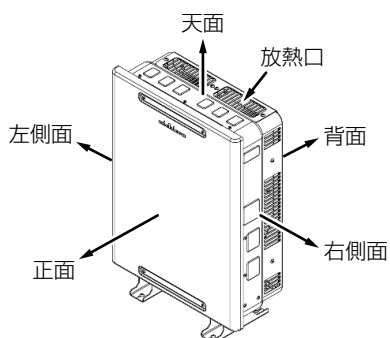
最低離隔距離

パワーユニット、プラグホルダの周囲は、排熱とメンテナンスのために、以下の寸法以上の距離を確保してください。また、それらの妨げにならないよう、最低離隔距離範囲内には物を置かないでください。

据置設置

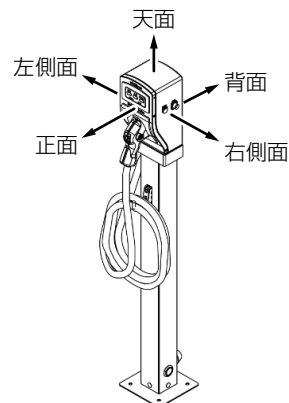
パワーユニット

- 正面：600 mm
- 背面：200 mm
- 左側面：300 mm
- 右側面：300 mm
- 天面：300 mm



プラグホルダ

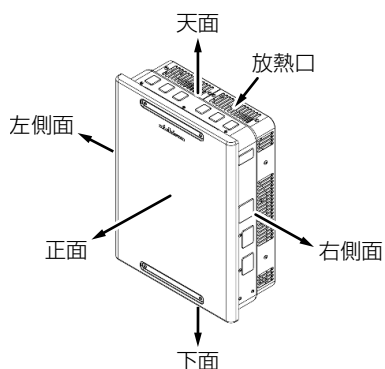
- 正面：600 mm
- 背面：50 mm
- 左側面：300 mm
- 右側面：300 mm
- 天面：200 mm



壁掛設置

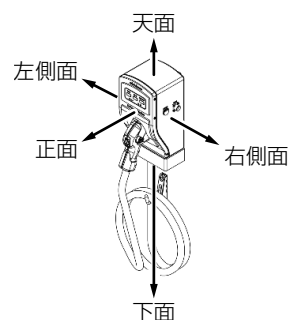
パワーユニット

- 正面：600 mm
- 左側面：300 mm
- 右側面：300 mm
- 天面：300 mm
- 下面：700 mm



プラグホルダ

- 正面：600 mm
- 左側面：300 mm
- 右側面：300 mm
- 天面：200 mm
- 下面：900 mm



EVPS 使用時のお願い

- 動作障害を避けるためラジオ、携帯電話などの影響を受けると困る電気機器は、EVPS の近くで使用しないでください。
- 充放電コネクタが汚れていたり、水が付着しているときはふき取ってから使用してください。
- 強い風雨のときは十分ご注意ください。
- 雷鳴時（使用時間中に予想されるときも含む）は、使用しないでください。

太陽光発電システムなどを後から設置するとき

太陽光発電システム、ハイブリッド蓄電システムなどの電力系統へ逆潮流する機器を EVPS より後に追加設置するときは、EVPS に追加の工事が必要になります。設置業者にお問い合わせください。

EVPS との連携機能があるパワーコンディショナを設置する場合

- EVPS と連携機能があるパワーコンディショナを併設したときは、EVPS 用のスマホアプリ、室内リモコン（オプション品）は使用できません。パワーコンディショナ側のスマホアプリ、室内リモコンで操作してください。
- 併設したときの操作方法などは、パワーコンディショナ側の取扱説明書を参照してください。

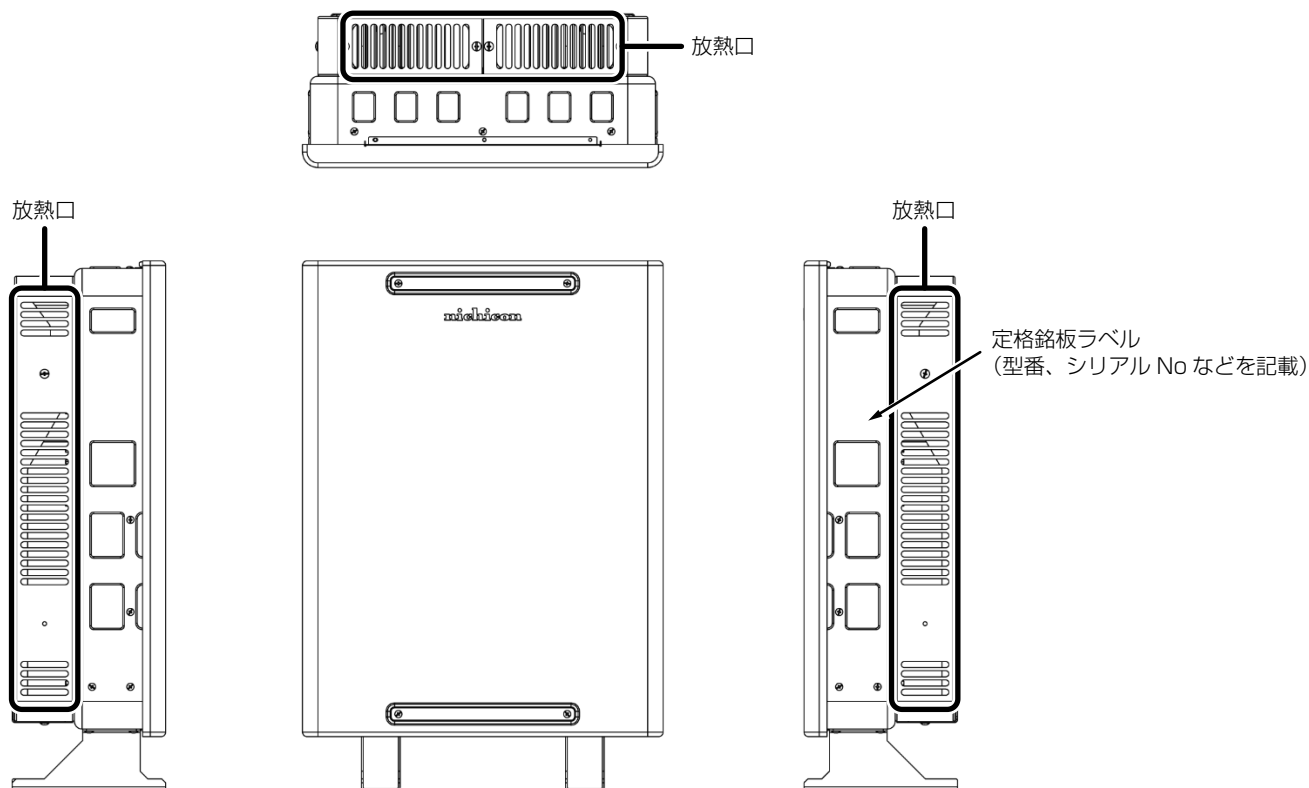
ご家庭の契約容量を変更されるとき

- 契約容量が 18 kVA 以上となる場合や、ご家庭の主幹ブレーカが 90 A 以上になる場合、追加の工事が必要になります。設置業者にお問い合わせください。
- 契約容量を変更されるときは契約容量の設定が必要なため、設置業者にお問い合わせください。

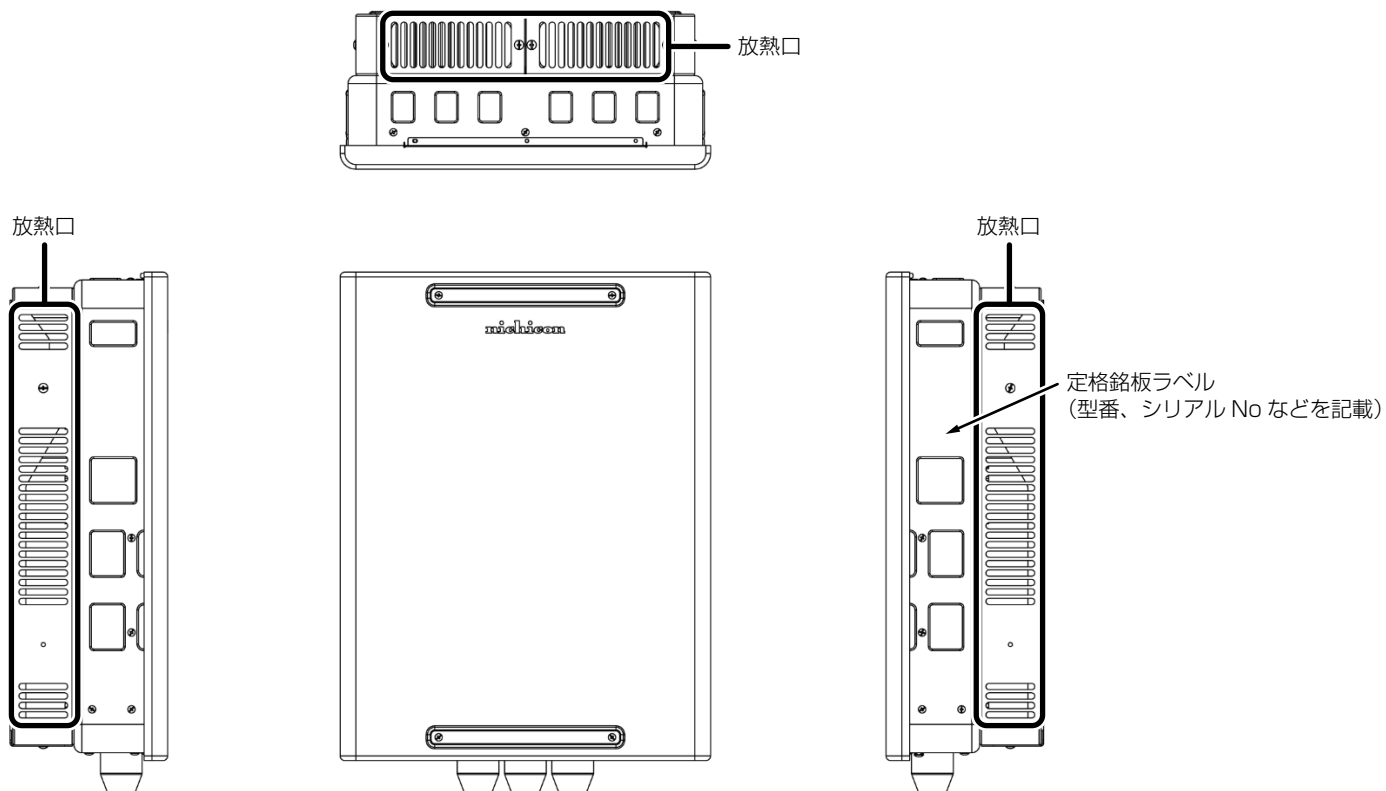
各部の名称と働き

パワーユニット

据置設置

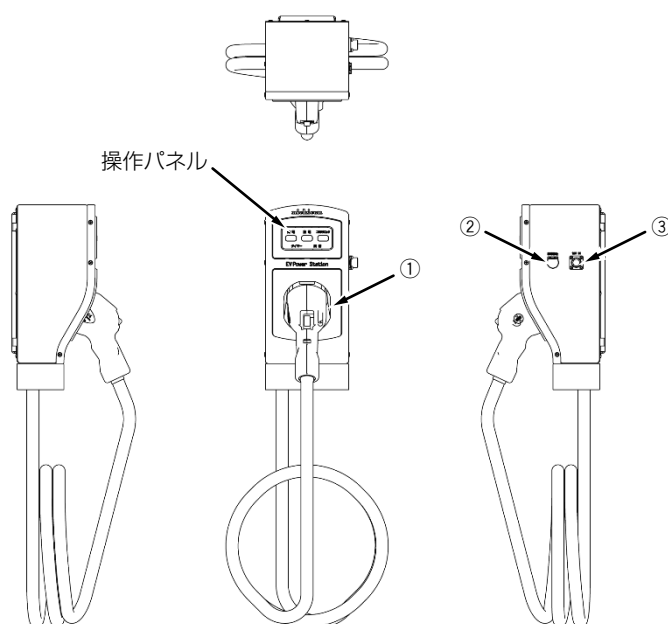


壁掛設置

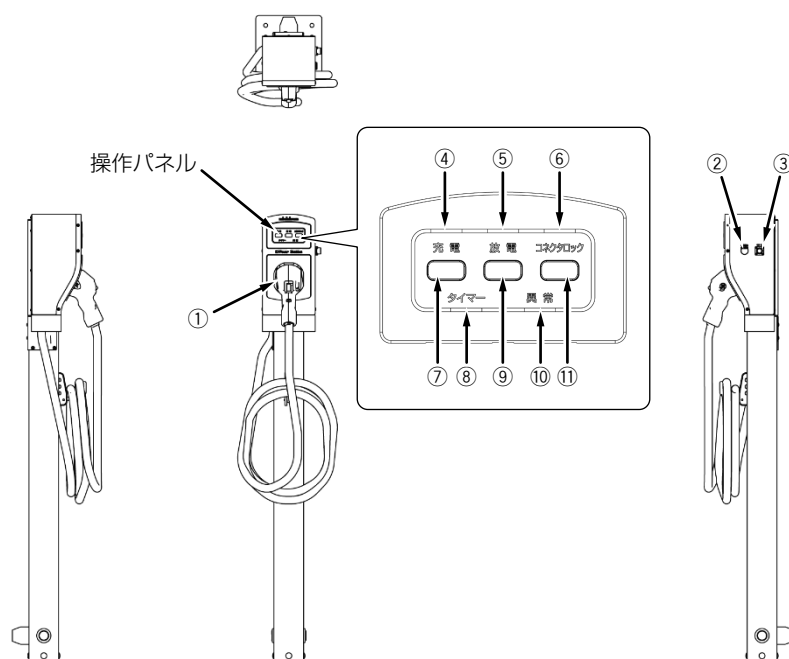


プラグホルダ（操作パネル）

壁掛設置



ポール設置

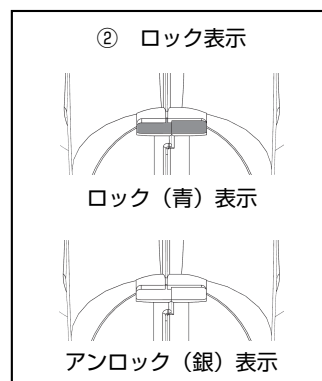
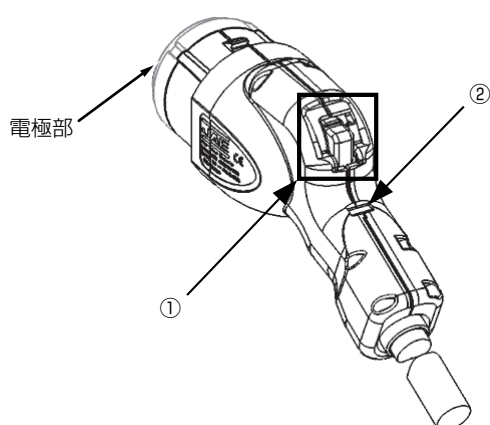


番号	名称	機能
①	コネクタホルダ	充放電コネクタを収納します。
②	【非常停止】ボタン	動作を非常停止します。
③	【12V_IN】	停電時に車両から本システムを起動するときに必要な 12 V 電源ケーブルの接続口です。 ・ 12 V 電源ケーブルの接続が不要な車両もあります。
④	【充電】青 LED	充電動作の際に点灯 / 点滅します。
⑤	【放電】青 LED	放電動作の際に点灯 / 点滅します。
⑥	【コネクタロック】青 LED	ロック / ロック解除の際に点灯 / 点滅します。
⑦	【充電】ボタン	充電を開始 / 停止します。
⑧	【タイマー】青 LED	タイマー動作のときに点灯 / 点滅します。
⑨	【放電】ボタン	放電を開始 / 停止します。
⑩	【異常】赤 LED	本システムに異常が発生しているときに点灯します。
⑪	【コネクタロック】ボタン	充放電コネクタをロック / ロック解除します。

動作状態	充電 LED	放電 LED	コネクタロック LED	タイマー LED	異常 LED
システム準備中	点滅	点滅	点滅	点滅	—
コネクタ未接続	—	—	—	—	—
コネクタロック実施中	—	—	点滅	—	—
待機中	—	—	点灯	—	—
充放電準備中（充電）	点滅	—	点灯	—	—
充電	点灯	—	点灯	—	—
充放電準備中（タイマー充電）	点滅	—	点灯	点滅	—
タイマー充電	点灯	—	点灯	点灯	—
充放電準備中（放電）	—	点滅	点灯	—	—
放電	—	点灯	点灯	—	—
充放電準備中（タイマー放電）	—	点滅	点灯	点滅	—
タイマー放電	—	点灯	点灯	点灯	—
充放電準備中（グリーン）	点滅	点滅	点灯	点滅	—
グリーンタイマー	点灯	点灯	点灯	点灯	—
充放電準備中（余剰電力充電）	点滅	—	点灯	点滅	—
余剰電力充電タイマー	点灯	—	点灯	点灯	—
ECHONET Lite の指示	点灯	点灯	点灯	—	—
インテリ・放電制御	—	点滅	—	—	—
自立放電	—	点灯	点灯	—	—
エラー停止	—	—	—	—	点灯

充放電コネクタ

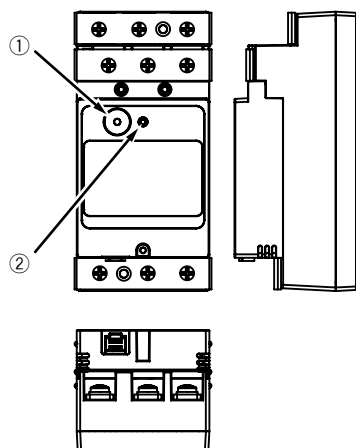
車両の急速充電口に接続するコネクタです。このコネクタを通して車両と電力をやり取り（充電 / 放電）します。電極部には触れないでください。



ロック（青）/アンロック（銀）表示

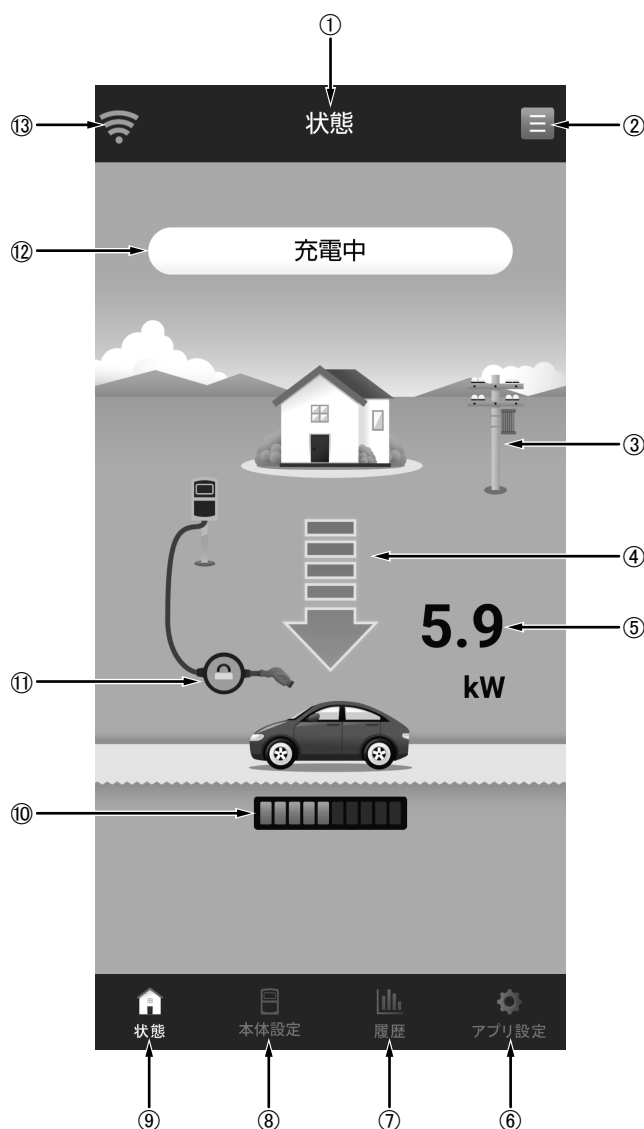
番号	名称	機能
①	リリースボタン	充放電コネクタを引き抜くときに押します。
②	ロック表示	コネクタがロックされているかを表示します。

自動切替開閉器



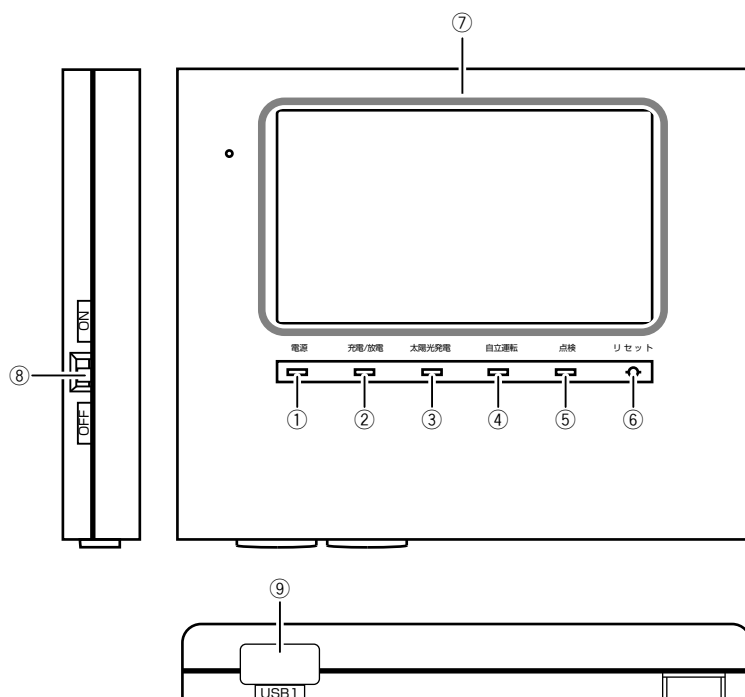
番号	名称	機能
①	復帰ボタン	自動切替開閉器のエラー時に使用します。復帰ボタンは5秒以上長押しすると停電になるおそれがあるため、5秒以上長押ししないでください。長押しして停電になったときは、あらためて復帰ボタンを短押ししてください。
②	状態表示 LED	LED で状態を示します。

スマホアプリ画面



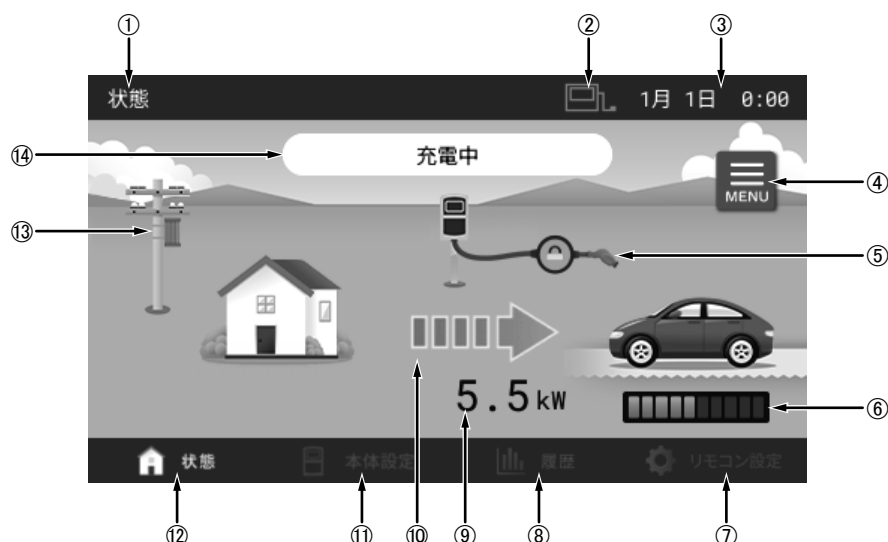
番号	名称	機能
①	画面タイトル	現在の画面のタイトルを表示します。
②	メニューアイコン	タップすると EVPS の操作メニューを表示します。
③	系統状態アイコン	電力系統の状態を表示します。
④	充放電アイコン	充電、タイマー充電は橙色。グリーンタイマーの余剰電力の充電、余剰電力充電タイマーは緑色。放電、タイマー放電、グリーンタイマーの放電は青色で表示します。
⑤	充放電電力	充放電電力を表示します。
⑥	【アプリ設定】	アプリの設定画面を表示します。
⑦	【履歴】	履歴画面を表示します。
⑧	【本体設定】	設定画面を表示します。
⑨	【状態】	メイン画面に戻ります。
⑩	車両充電率バー	車両の充電率（電池残量）目安を表示します。
⑪	コネクタ状態アイコン	充放電コネクタが車両にロックしているかを表示します。
⑫	本体状態	EVPS の状態を表示します。
⑬	アンテナアイコン	スマホが正しいアクセスポイントに接続できているかを表示します。

室内リモコン（オプション品）



番号	名称	機能
①	【電源】 緑 LED	室内リモコンの電源が ON のときに点灯します。
②	【充電 / 放電】 緑 LED	充電、放電等の動作をしているときに点灯、充放電準備中に点滅します。
③	【太陽光発電】 緑 LED	太陽光発電の余剰電力で充電中に点灯します。
④	【自立運転】 緑 LED	自立運転中に点灯します。
⑤	【点検】 緑 LED	エラー発生中に点灯 / 点滅します。
⑥	【リセット】 ボタン	室内リモコンのマイコンをリセットします。
⑦	画面	表示画面を兼ねたタッチパネルです。 充電 / 放電状態の表示や各運転モードを設定します。
⑧	電源スイッチ	室内リモコンの電源を ON/OFF します。
⑨	USB1	サービスマンが作業するときに使用します。

室内リモコン画面



番号	名称	機能
①	画面タイトル	現在の画面のタイトルを表示します。
②	アンテナアイコン	リモコンがパワーユニットと接続しているかを表示します。
③	現在日時、時刻	EVPS が認識している日時、時刻を表示します。
④	メニューアイコン	タッチすると EVPS の操作メニューを表示します。
⑤	コネクタ状態アイコン	充放電コネクタが車両にロックしているかを表示します。
⑥	車両充電率バー	車両の充電率（電池残量）目安を表示します。
⑦	【リモコン設定】	リモコンの設定画面を表示します。
⑧	【履歴】	履歴画面を表示します。
⑨	充放電電力	充放電電力を表示します。
⑩	充放電アイコン	充電、タイマー充電は橙色。グリーンタイマーの余剰電力の充電、余剰電力充電タイマーは緑色。放電、タイマー放電、グリーンタイマーの放電は青色で表示します。
⑪	【本体設定】	設定画面を表示します。
⑫	【状態】	メイン画面を表示します。
⑬	系統状態アイコン	電力系統の状態を表示します。
⑭	本体状態	EVPS の状態を表示します。

本体状態の文言	内容
システム準備中	停電からの復旧、システムリセット後の EVPS 起動待ち
コネクタ未接続	充放電コネクタのロックが解除されています
コネクタロック実施中	充放電コネクタのロックを実施しています
待機中	充放電コネクタがロックされています
充放電準備中	充電・放電の開始準備をしています
充電中	車両に充電しています
タイマー充電中	タイマー充電により車両に充電しています
放電中	車両から放電しています
タイマー放電中	タイマー放電により車両から放電しています
グリーンモード中	グリーンタイマーが動作しています
余剰電力充電中	余剰電力充電タイマーが動作しています
停止中（消費電力少ないため）	インテリ・放電制御、インテリ・グリーン制御により動作を停止しています
停止中（余剰電力少ないため）	インテリ・グリーン制御により動作を停止しています
自立運転中	自立運転しています
コネクタロック解除中	充放電コネクタのロックを解除しています
ECHONET Lite 運転中	ECHONET Lite からの運転指示で動作しています
運転終了処理中	充電・放電動作の終了処理をしています
エラー停止中	エラーのため停止しています

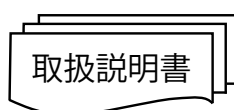
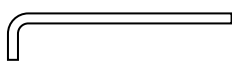
12 V 電源ケーブル (12m)

停電時に自立運転をするために、車両とプラグホルダを接続するケーブルです。使用しない車種もあります。



充放電コネクタ緊急離脱工具 (取扱説明書付)

充放電コネクタが取り外せなくなった緊急時に使用します。



ご使用になる前の準備

無線 LAN (Wi-Fi) ルーターとの接続

ご家庭の無線 LAN ルーターと接続すると、スマートフォン専用アプリや HEMS 連携機能を使用できます。専用アプリや HEMS 連携機能を使わないときは、接続は不要です。

無線 LAN (Wi-Fi) ルーターご使用上の注意

- すべての使用環境でルーターと接続できることを保証するものではありません。
- スマートフォン専用アプリは、EVPS に接続された無線 LAN ルーターの Wi-Fi 接続可能エリア外からは操作できません。(例えば自宅の外は、Wi-Fi 接続圏外のため専用アプリの操作はできません。)
- 無線ルーターが 2.4 GHz 帯を使用しているときは、電波の干渉による悪影響を防止するため、電子レンジ、他の無線 LAN 機器、近距離無線通信を使用した機器、2.4 GHz の電波を使用する機器からはできるだけ離して使用してください。
- 無線 LAN は電波を使ってデータを送受信するため、盗聴や不正なアクセスを受けるおそれがあります。無線 LAN のご使用にあたっては、その危険性を十分にご理解いただいたうえ、暗号化してご使用ください。

スマートフォン接続に関する注意

- マルチキャスト通信をするため、ルーターやアクセスポイントの設定の変更が必要になることがあります。
- ルーターやアクセスポイントの「セパレーター機能」を使用したり、「ゲスト SSID」に接続したりしないでください。
- インターネットに接続されていないルーターのときは、Android OS の仕様により、一部のスマートフォンでは Wi-Fi を使用せずにモバイル通信を使用することがあります。このときは、機内モードにしてから Wi-Fi を ON にするなどの手順で、モバイル通信を OFF にする必要があります。
- ルーターの種類によっては上記の設定をしても通信が不安定になったり、途切れることがあります。

必要なネットワーク環境

- DHCP サーバーに対応していること (例えば、ルーターに DHCP 機能があるなど)
- クラス C のプライベートアドレスが配布されること
- IPv4 アドレスに対応していること

上記に対応していないルーターのときは、スマートフォン専用アプリや HEMS 連携機能をご利用になるにあたってルーターの入れ替えが必要になることがあります。

スマホアプリの準備

お手持ちのスマートフォンに専用アプリ「EVPS controller」をインストールすると、アプリから EVPS を操作、状態の確認ができます。

- 専用アプリは、パワーコンディショナに接続された無線 LAN ルーターの Wi-Fi 接続可能エリア外からは操作できません（例えば自宅の外は、Wi-Fi 接続圏外のため専用アプリの操作はできません）。

スマホアプリをインストールする

GooglePlay と AppStore から専用リモコンアプリを無料でダウンロードできます（ダウンロードには通信費用が発生することがあります）。

Android の場合

- ① Google Play を開く
- ② 【EVPS controller】を検索する
- ③ 画面に従ってインストールする

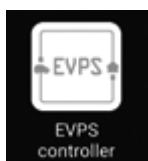
iOS (iPhone) の場合

- ① App Store を開く
- ② 【EVPS controller】を検索する
- ③ 画面に従ってインストールする



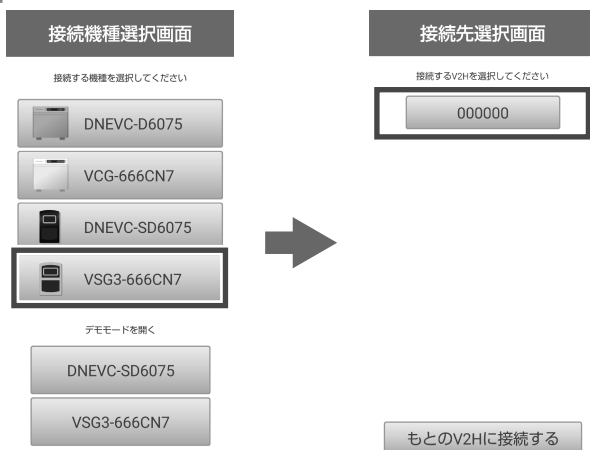
ダウンロード画面例

1 スマホアプリを起動する



スマートフォンにインストールした専用アプリ【EVPS controller】を起動します。

2 接続機種を選ぶ



【VSG3-666CN7】を選んでください。

接続先選択画面が表示されたときは、接続する EVPS のシリアル番号を選んでください。

メモ

スマートフォンを接続している同一のネットワークに接続されている EVPS のシリアルが表示されます。

スマホアプリの制約事項

EVPS と同一ネットワークに接続しているスマートフォンを 4 台まで認識できますが、下記についてご注意ください。

- 接続しているスマートフォンで同時に操作をすることは控えてください。正しく操作できないおそれがあります。
- 同時に起動するアプリは最低限にしてください。データ更新ができなかったり、表示が遅れることがあります。
- HEMS コントローラを接続しているときは、応答が遅くなることがあります。

車両と接続 / 取り外しをする

車両との接続は、車両が停止した状態で接続してください。

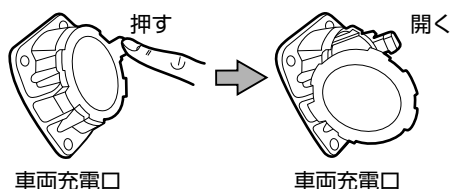
車両はパーキング状態で、メーターパネルが消えた状態 (POWER OFF^{*}) にしてください。

※ 車種により名称が異なることがあります。車両の取扱説明書をご確認ください。

停電時の自立運転に備えて、車両を駐車しているときはコネクタロック状態にしておくことを推奨します。

車両に接続 (コネクタロック) する

1 車両を準備する

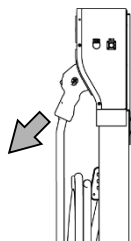


車両のシフトをパーキング (P 位置) にします。
車両を POWER OFF にして、車両の充電口を開きます。

メモ

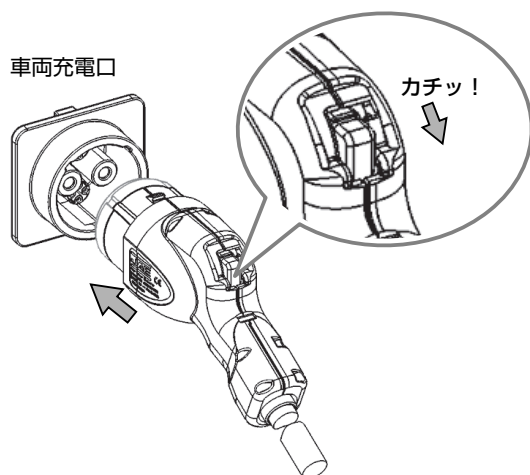
- 車両ごとに操作が異なるため、車両の取扱説明書をご確認ください。

2 プラグホルダから充放電コネクタを取り外す



充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、コネクタを引き抜きます。

3 充放電コネクタを車両に接続する



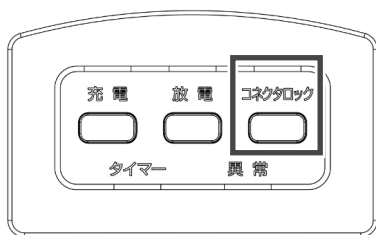
充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。
「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

メモ

- 自動コネクタロックの設定が有効になっていれば、一部車両を除き自動でコネクタロックしますが、対応車両でも駐車後一定時間経過するとコネクタロックしない場合があります。

4 コネクタをロックする

プラグホルダ（操作パネル） のとき



【コネクタロック】 ボタンを押します。

【コネクタロック】 LED が点滅します。

ロックが完了すると【コネクタロック】 LED が点灯します。

スマホアプリのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタップします。

【操作メニュー】 で【コネクタロック】 をタップします。

ロックが完了すると、本体状態が【待機中】になります。

室内リモコンのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】 で【コネクタロック】 をタッチします。

ロックが完了すると、本体状態が【待機中】になります。

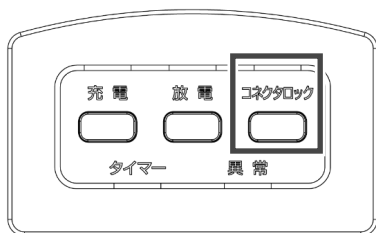
メモ

- コネクタが車両に接続されていない状態では、コネクタはロックできません。
- コネクタロック中は、無理にコネクタを取り外さないでください。
- プラグホルダのコネクタホルダにはロックできません。
- コネクタロック解除した直後にロックするときは、ロックするまで 20 秒程度かかることがあります。

車両から取り外す（コネクタロック解除）

1 コネクタのロックを解除する

プラグホルダ（操作パネル）のとき



【コネクタロック】ボタンを押します。

【コネクタロック】LED が点滅します。

ロックの解除が完了すると【コネクタロック】LED が消灯します。

スマホアプリのとき



【状態】画面でメニューアイコンをタップします。

【操作メニュー】で【コネクタロック解除】をタップします。

ロックの解除が完了すると、本体状態が【コネクタ未接続】になります。

室内リモコンのとき



【状態】画面でメニューアイコンをタッチします。

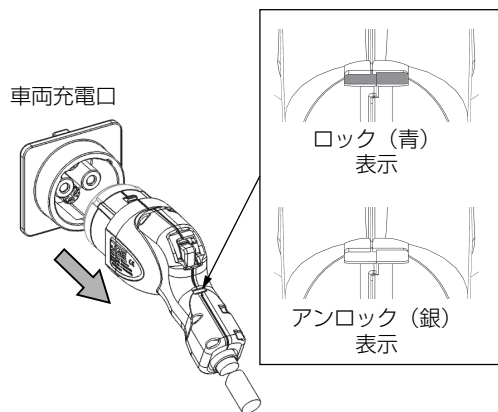
【操作メニュー】で【コネクタロック解除】をタッチします。

ロックの解除が完了すると、本体状態が【コネクタ未接続】になります。

メモ

- 充電 / 放電動作中にコネクタロック解除をすると、充電 / 放電動作を終了してからコネクタのロックが解除されます。

2 車両から充放電コネクタを取り外す

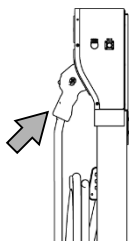


ロック / アンロック表示が青になっていないことを確認します。充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、充放電コネクタを引き抜きます。

メモ

- 充電 / 放電中はコネクタを外さないでください。
- コネクタを外すときは、EVPS の動作が停止したことを確認してから外してください。
- リリースボタンが押せないときは、手順 1 に戻ってコネクタのロックを解除してください。また、コネクタが外れないときは「緊急離脱について」(54 ページ) を参照してください。

3 プラグホルダに充放電コネクタを収納する



充放電コネクタをコネクタホルダの奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

メモ

- 雨水やほこりなどを避けるために、使用しないときは充放電コネクタをコネクタホルダに収納して保管してください。

充電 / 放電をする

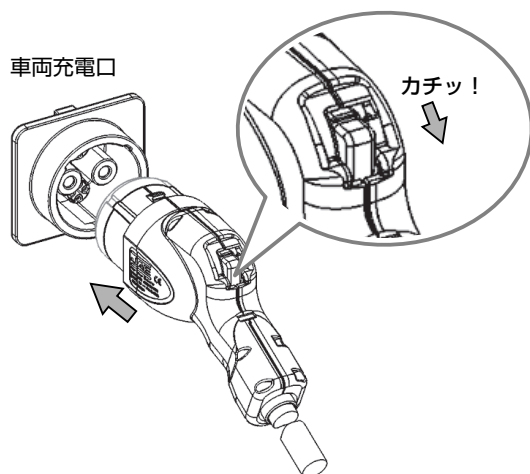
お好みのタイミングで車両への充電や、車両からの放電ができます。

充電する前に

- 放電非対応車両では、この機能を使用できません。接続対象車種は弊社ホームページをご確認ください。
- EVPS の充電機能を十分にお使いいただくためには、最大で 6 kW の電力が必要です。その他にご家庭内でご使用になる電気機器も含めた電力契約が必要です。
- 充電時に家庭の消費電力を計測して、設定された契約電力値以下になるように充電電力を制御します（インテリ・充電制御）。そのため、充電時に家庭の消費電力が多いと車両に充電する電力が少なくなり、充電時間が長くなることがあります。
- 【充電停止充電率】（42 ページ）を設定してください。（初期値 90%）
- 車両が推奨するバッテリー充電率か、EVPS の充電停止充電率のどちらか低い方まで充電します。設定で 100% に設定しても、車両によっては 100% になる前に充電を停止することがあります。

充電を開始する

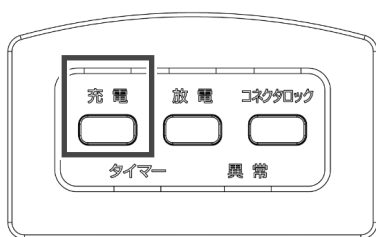
1 充放電コネクタを車両に接続する



充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。
「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

2 充電を開始する

プラグホルダ（操作パネル） のとき



【充電】 ボタンを押します。

【充電】 LED が点滅して、本体と車両の準備が始まります。

【充電】 LED が点灯すると、充電を開始します。

スマホアプリのとき

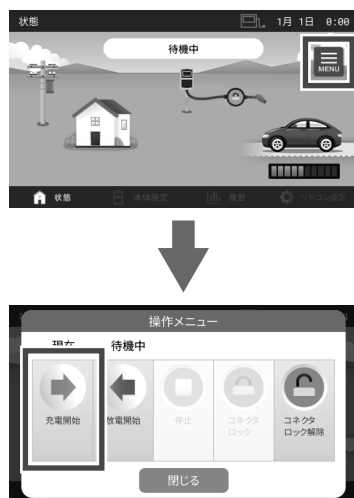


【状態】 画面でメニューアイコンをタップします。

【操作メニュー】 で【充電開始】 をタップします。

充電を開始すると、本体状態が【充電中】になります。

室内リモコンのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】 で【充電開始】 をタッチします。

充電を開始すると、本体状態が【充電中】になります。

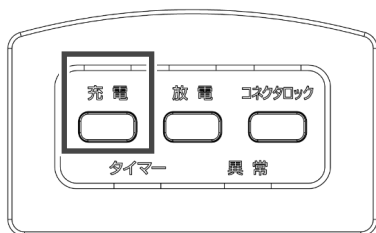
メモ

- コネクタロックがされていなくても、【充電】 ボタンを押すとコネクタをロックして充電動作を開始します。
- 充電開始操作をしてから実際に充電するまで数秒かかります。
- 放電中に【充電】 ボタンを押すと、充電動作に切り替わります。
- 【充電】 ボタンを押したときに、【異常】 以外の LED が点滅するときは充電できない状態です。

充電を停止する

1 充電を停止する

プラグホルダ（操作パネル）のとき



【充電】 ボタンを押します。

【充電】 LED が点滅します。

充電が停止すると【充電】 LED が消灯します。

スマホアプリのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタップします。

【操作メニュー】 で【停止】 をタップします。

充電が停止すると、本体状態が【待機中】になります。

室内リモコンのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】 で【停止】 をタッチします。

充電が停止すると、本体状態が【待機中】になります。

メモ

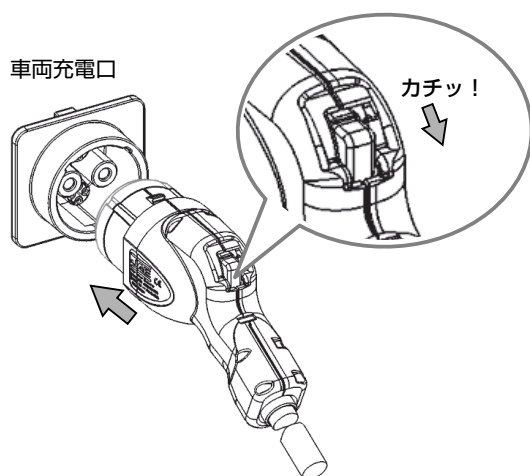
- 【充電停止充電率】（42 ページ）または車両が定めた充電率に達したときは、充電を自動で停止します。
- 充電が停止しても、コネクタはロックされた状態のままになります。
- コネクタを取り外すときは、「車両から取り外す（コネクタロック解除）」（24 ページ）に従ってロックを解除してください。

放電する前に

- 放電非対応車両では、この機能を使用できません。接続対象車種は弊社ホームページをご確認ください。
- 【放電停止充電率】（42 ページ）を設定してください。（初期値 30%）
- 車両が推奨するバッテリー充電率か、EVPS の【放電停止充電率】（42 ページ）のどちらか高い方まで放電します。設定で 10% に設定しても、車両によっては 10% になる前に放電を停止することがあります。
- 電力会社との取り決めにより、放電中でも若干の電力を買電します。
- 一部の DC モーター制御を行う機器（サーキュレータやドライヤーなど）は使用できないことがあります。また、一部の LED 照明ではチラツキが発生することがあります。これらは EVPS の異常ではありませんので、ご留意の上、使用してください。

放電を開始する

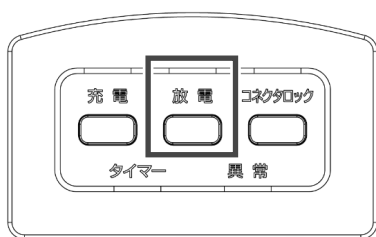
1 充放電コネクタを車両に接続する



充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。
「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

2 放電を開始する

プラグホルダ（操作パネル）のとき



【放電】 ボタンを押します。

【放電】 LED が点滅して、本体と車両の準備が始まります。

【放電】 LED が点灯すると、放電を開始します。

スマホアプリのとき

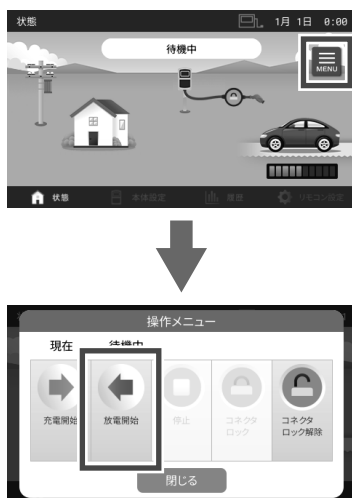


【状態】 画面でメニューアイコンをタップします。

【操作メニュー】で【放電開始】をタップします。

放電が開始すると、本体状態が【放電中】になります。

室内リモコンのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】で【放電開始】をタッチします。

放電が開始すると、本体状態が【放電中】になります。

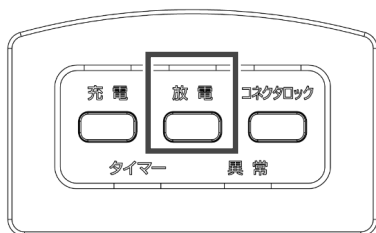
メモ

- コネクタロックがされていなくても、【放電】ボタンを押すとコネクタをロックして放電動作を開始します。
- 放電開始操作をしてから実際に放電するまで数秒かかります。
- 充電中に【放電】ボタンを押すと、放電動作に切り替わります。
- 【放電】ボタンを押したときに、【異常】以外のLEDが点滅するときは放電できない状態です。

放電を停止する

1 放電を停止する

プラグホルダ（操作パネル）のとき

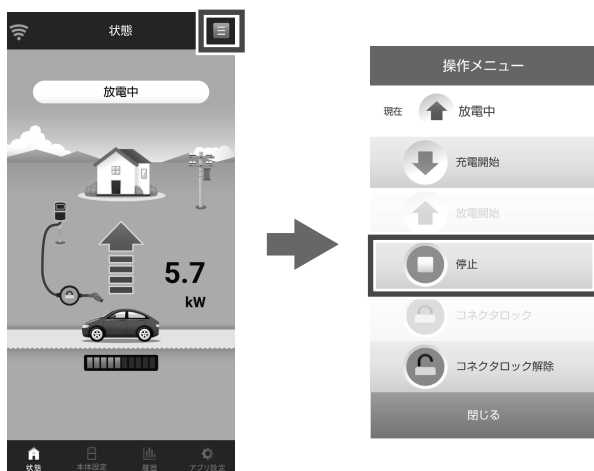


【放電】 ボタンを押します。

【放電】 LED が点滅します。

放電が停止すると【放電】 LED が消灯します。

スマホアプリのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタップします。

【操作メニュー】で【停止】をタップします。

放電が停止すると、本体状態が【待機中】になります。

室内リモコンのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】で【停止】をタッチします。

放電が停止すると、本体状態が【待機中】になります。

メモ

- 【放電停止充電率】（42 ページ）または車両が定めた充電率に達したときは、放電を自動で停止します。
- 放電が停止しても、コネクタはロックされた状態のままになります。
- コネクタを取り外すときは、「車両から取り外す（コネクタロック解除）」（24 ページ）に従ってロックを解除してください。

タイマー予約操作をする

タイマーは4つまで設定できます。タイマー設定すると、設定した運転種別（充電、放電、グリーン、余剰電力充電）、時間、曜日で動作を開始/停止します。タイマーは停電、瞬停などがあっても、停電から復旧すると自動で動作を再開します。夜間の充電など定期的な運転はタイマー設定をお勧めします。

- 充放電コネクタを車両に接続してからロックしていないときは、開始時刻になると自動でコネクタをロックして運転を開始します。
- 手動及び、HEMS コントローラによる操作で充電/放電をしている場合でも、設定されたタイマーの開始時間になるとタイマー動作に切り替わります。
- タイマーの時間帯が重複しないように設定してください。
- タイマーの動作しているときには、操作パネルの【タイマー】LED が点灯します。

以下のときは、タイマー運転を開始しません。ご注意ください。

- タイマー運転の開始時刻に、充放電コネクタが車両に接続されていない
- タイマー運転の開始時刻に、停電している
- EVPS の時刻が正しく設定されていない
- 余剰電力充電の開始時刻に、太陽光発電の余剰電力がない
— 余剰電力を検知すると、タイマー運転を開始します。

運転種別について

充電

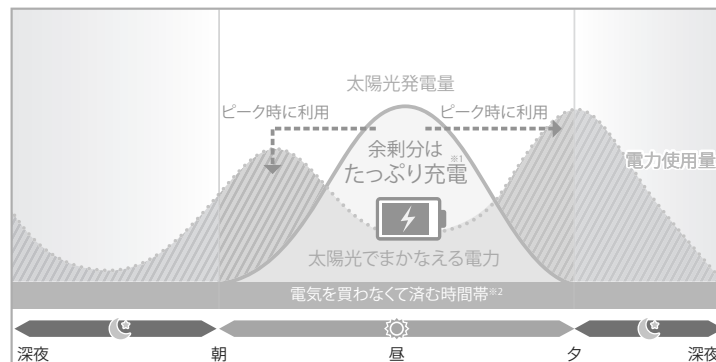
系統からの電力を契約電力内（ブレーカーが落ちない範囲）で充電します。（インテリ・充電制御）
太陽光発電などの余剰電力がある場合は、その電力を優先的に充電します。

放電

車両に蓄えられた電力を、家庭に放電します。

グリーン

太陽光発電の余剰電力分は充電して、太陽光発電電力が不足しているときや発電電力がないときは放電します。



※1: 満充電後の余剰分は売電します。
※2: ご家庭での電気使用量によって異なります。

- 余剰電力を充電するときの上限は、車両が推奨するバッテリー充電率、EVPS の充電停止充電率、グリーンタイマー時の最大上限値 99% のいずれか低い方まで充電します。充電上限に達すると余剰電力を売電します。
- バッテリー充電率が車両の放電上限以下または、EVPS の放電停止充電率設定値以下の場合は動作を開始しません。
- グリーン動作後、バッテリー充電率が EVPS の放電停止充電率（42 ページ）の設定値に達すると、放電電力の出力を停止しますが、車両との通信は維持します。
- 車両との通信は、タイマーの終了時間または、車両の放電上限に達すると停止します。

余剰電力充電

太陽光発電電力の余剰電力が発生しているときに、余剰電力のみを車両に充電します。車両が推奨するバッテリー充電率または【充電停止充電率】（42 ページ）のどちらか低い方まで充電します。充電上限に達すると余剰電力を売電します。

- 余剰電力が見込める時間帯を設定してください。
- 設定時間内に余剰電力が充分あり、一定時間継続した時に動作を開始します。

- 余剰電力充電停止（42 ページ）で設定した値になると動作を停止しますが、設定時間内に再度余剰電力を検知した場合は、動作を再開します。

タイマー時間の上限値

タイマー予約時間には上限値（接続車両により 12 時間、23 時間 50 分）があり、上限値を超えるタイマーの設定はできません。上限値を超えるメッセージが表示されたときは、メッセージに従って時間を変更してください。

タイマー設定の構成

タイマーには、5 つの設定項目があります。

設定項目	内容
無効・有効	タイマー設定の有効 / 無効を設定します。
運転種別	タイマーの運転種別を設定します。
開始時刻	タイマー運転が開始する時刻を設定します。
停止時刻	タイマー運転が終了する時刻を設定します。
開始曜日	タイマー運転を開始する曜日を設定します。

● タイマー設定の例

設定項目	設定例	内容
無効・有効	有効	タイマー設定が有効です。 月曜日、水曜日、金曜日の 17 時に放電を開始して、22 時に停止します。
運転種別	放電	
開始時刻	17:00	
停止時刻	22:00	
開始曜日	月、水、金	

設定項目	設定例	内容
無効・有効	有効	タイマー設定が有効です。 金曜日、土曜日、日曜日の 23 時に充電を開始して、翌日の 7 時に停止します。
運転種別	充電	
開始時刻	23:00	
停止時刻	7:00	
開始曜日	金、土、日	

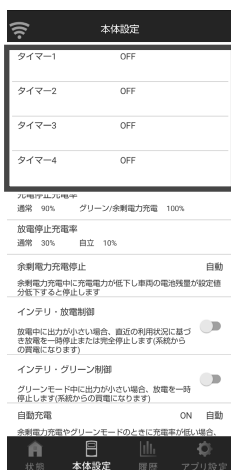
設定項目	設定例	内容
無効・有効	無効	タイマー設定が無効です。
運転種別	グリーン	
開始時刻	10:00	
停止時刻	17:00	
開始曜日	火、水、木	

スマホアプリでタイマーを設定する

1 【状態】画面の【本体設定】をタップする



2 設定したいタイマー番号をタップする



メモ

- 設定するときは、運転が停止している必要があります。運転しているときは、灰色になりタップできません。運転を停止してから設定してください。

3 タイマーの内容を設定をする



各項目をタップして、設定したい内容に変更してください。
すべての項目を変更したら、【設定保存】をタップしてください。
【設定保存】をタップしないと、変更した内容が設定されません。

室内リモコン（オプション品）でタイマーを設定する

1 【状態】画面の【本体設定】をタッチする



2 設定したいタイマー番号をタッチする



メモ

- 設定するときは、運転が停止している必要があります。運転しているときは、灰色になりタッチできません。運転を停止してから設定してください。

3 タイマーの内容を設定をする

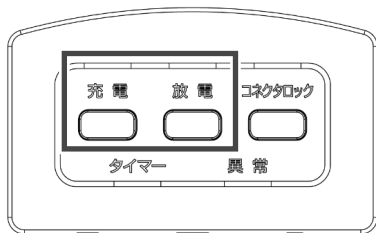


各項目をタッチして、設定したい内容に変更してください。
すべての項目を変更したら、【設定保存】をタッチしてください。
【設定保存】をタッチしないと、変更した内容が設定されません。

タイマー運転中に運転を停止する

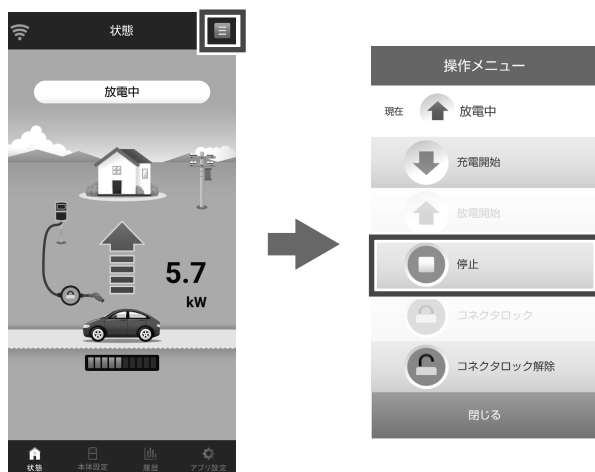
1 タイマー運転を停止する

プラグホルダ（操作パネル）のとき



操作パネルではタイマー充電、タイマー放電のみ停止できます。LED が点灯しているボタンを押します。LED が点滅します。運転が停止すると、LED が消灯します。グリーンタイマーと余剰電力充電タイマーは、下記のスマホアプリまたは室内リモコンで停止してください。

スマホアプリのとき



【状態】画面でメニューアイコンをタップします。
【操作メニュー】で【停止】をタップします。
運転が停止すると、本体状態が【待機中】になります。

室内リモコンのとき



【状態】画面でメニューアイコンをタッチします。
【操作メニュー】で【停止】をタッチします。
運転が停止すると、本体状態が【待機中】になります。

メモ

- 動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままになります。
- コネクタを取り外すときは、「車両から取り外す（コネクタロック解除）」（24 ページ）に従ってロックを解除してください。
- 【コネクタロック解除】をタップしたときは、運転が停止してロックが解除されます。

タイマー設定時間中に動作を再開する

タイマー運転を手動で停止したときは、タイマー設定時間内であれば以下の手順でタイマー動作を再開できます。

1 コネクタのロックを解除する

コネクタがロックされているときは、ロックを解除します（24 ページ）。

2 コネクタをロックする

コネクタをロックします（22 ページ）。コネクタロックが完了すると、タイマー動作が再開します。

停電時に使用する（自立運転）

もしも系統電力が停電になったときは、車両からの電力を放電できます。タイマー運転は開始しません。

【自立運転切替設定】（43 ページ）の状態により、停電発生時の動作が異なります。設定の方法については 42 ページを参照ください。

自立運転する前に

車両の電池残量が、車両の推奨するバッテリー充電率以下または【放電停止充電率（自立運転時）】（42 ページ）の設定値以下になっているときは、自立運転できません。

自立運転切替設定について

【自立運転切替設定】（43 ページ）が有効になっているときは、自動で自立運転を開始します。停電発生時の EVPS の状態により、自動で自立運転を開始出来ない場合もありますので、下記の内容を確認してください。

コネクタ未ロック（【コネクタロック】LED 消灯）の状態ですら

39 ページを参照して、自立運転を開始してください。

コネクタロック（【コネクタロック】LED 点灯）で待機中および動作中（【充電】 / 【放電】LED 点灯）に停電したら

停電を検出したときは自動で自立運転を開始して、家庭に電力を供給します。

停電発生から自立運転の電力供給開始まで、約 20 ～ 30 秒の時間がかかります。

自動で自立運転を開始しないようにするには、【自立運転切替設定】を【無効】にしてください（43 ページ）。【無効】のときは 39 ページ（停電時に自立運転を開始する）を参照して、自立運転を開始してください。

メモ

- EVPS の電源が入ってから 30 分程度経過していないときは、自動で自立運転を開始できません。
- 停電発生時の系統電圧の状態、30 分以内に連続して停電が発生した場合は、自動で自立運転を開始できない場合があります。
- 開始しなかった場合は、39 ページ（停電時に自立運転を開始する）を参照して、手動で自立運転を開始してください。

停電時の家電製品の使用について

- AC 100 V と 200 V の機器を合わせて、消費電力 6 kVA 以下を目安に家電製品を使用できます。（定格出力：片相 3 kVA/ 両相合計 6 kVA）
- センサー機能や調光機能がある照明は、ちらつくことや動作しないことがあります。
- 突入電流が大きい家電機器や業務用機器などは動作しないことがあります。
- 消費電力が大きい家電製品や業務用機器などを使用するときは、動作させる前に他の家電製品を減らすなど、EVPS が供給できる電力を超えないようにしてください。
- 突入電流が大きい家電製品や消費電力が大きい家電製品を使用したときは、自立運転が停止します。そのときは、その家電製品の使用を控えてください。
- 生命にかかわる家電製品、医療機器や防犯機器などは接続しないでください。
- バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器は接続しないでください。



警告

本製品では災害による停電で、自立運転による電力供給を開始したときに、通電火災を引き起こすおそれがあります。自立運転のときには、浸水などにより家電製品が破損していないか、配線やコードが損傷していないか、燃えやすいものが近くにないかなど、十分に安全を確認してから家電製品を使用してください。

建物や家電製品などには外観上の損傷がなくとも、壁内の配線の損傷や家電製品内部の故障により、自立運転後から長時間経過したのち火災に至ることがあります。煙の発生などの異常を発見したときは直ちに自立運転を停止して、消防機関に連絡してください。

自立運転時に系統連系機器※がある場合

- 自立運転を開始して約 5 分間の通電が継続した後に、太陽光発電が自動で発電を開始します。
- 太陽光発電電力に余剰電力が発生したときは、余剰電力を車両に充電します。
- 車両の電池残量が【充電停止充電率】(42 ページ) の設定値、車両が推奨する充電率に達したときは、系統連系機器を自動で停止させます。停止後、バッテリー充電率が下がると再開します。系統連系機器の操作は必要ありません。

※ 太陽光発電、エネファーム、蓄電システムなど

メモ

- 各機器の接続状態または仕様によっては、自立運転時に発電しないことがあります。そのときは、太陽光発電側を自立運転などに切り替えてください。

停電が復旧したら

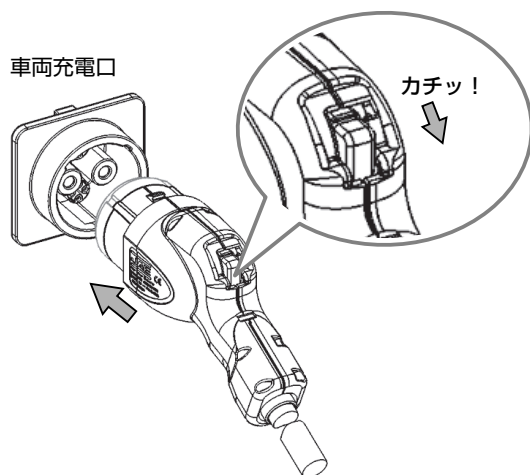
- 停電が復旧したことを確認すると自立運転は動作を自動で停止して、宅内には系統電力から電力供給されます。
- 停電が復旧してから電力会社との協議で定められている時間 (約 5 分間) は、EVPS は動作できません。

停電時に自立運転を開始する

下記の条件により自動で自立運転が開始しなかったときは、下記の手順で手動による自立運転を開始してください。

- 【自立運転切替設定】が無効
- 停電時に充放電コネクタのコネクタロックがされていない
- EVPS の電源が入ってから、30 分以内の停電

1 充放電コネクタを車両に接続する



充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。
「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

メモ

- 車両充電口にコネクタをしっかりと差し込んで抜けないことを確認してください。
- 車両によっては、下記の手順 2、3、5 の操作が不要なことがあります。不要なときは、手順 4 のみ操作してください。

2 プラグホルダに 12 V 電源ケーブルを接続する



プラグホルダ右側面の【12V_IN】に 12 V 電源ケーブルを接続してください。

ふたは、左に回して手前に引くと取り外せます。

メモ

- 使用時以外は常時ふたを付けておいてください。

3 車両の電源ソケットに 12 V 電源ケーブルを接続する

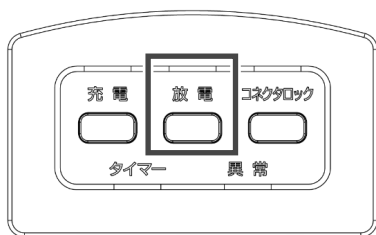
車両の電源ソケットに付属品の 12 V 電源ケーブルを接続して、車両のパワースイッチを ACC (アクセサリ) にします。

メモ

- 車両のソケットの位置および接続、操作方法が異なるため、事前に車両の取扱説明書をご確認ください。

4 自立運転を開始する

プラグホルダ（操作パネル）のとき



プラグホルダの各 LED が点滅から消灯するまでお待ちください。

消灯後【放電】ボタンを押します。

【放電】LED が点滅します。

自立運転を開始すると、【放電】LED が点灯します。

室内リモコンで開始



【状態】画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】で【放電開始】をタッチします。

放電を開始すると、本体状態が【自立運転中】になります。

メモ

- 停電時はルーターの電源も喪失してしまうためアプリで操作ができません。その場合はプラグホルダ（操作パネル）で操作下さい。

5 車両のパワースイッチを OFF にする

車両からの放電状態を確認してから、車両のパワースイッチを OFF にします。

12 V 電源ケーブルを取り外してください。

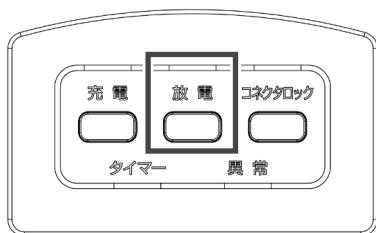
メモ

- 車両の消費電力が大きくなり車両蓄電池が早く消費されてしまうため、放電確認後は車両のパワースイッチを必ず OFF にしてください。
- 車両によってはパワースイッチを OFF にすると自立運転が停止するものがあります。その場合は車両のパワースイッチを ACC のままでご利用ください。

停電時に自立運転を停止する

1 自立運転を停止する

プラグホルダ（操作パネル）のとき



【放電】 ボタンを押します。

【放電】 LED が点滅します。

自立運転が停止すると、【放電】 LED が消灯します。

スマホアプリのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタップします。

【操作メニュー】 で【コネクタロック解除】をタップします。

室内リモコンのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】 で【停止】をタッチします。

本体の設定をする

スマホアプリ、室内リモコンの【本体設定】をタップすると、本体設定項目が表示されます。

設定するときは、運転を停止している必要があります。

運転しているときは、灰色になりタップできません。運転を停止してから操作してください。



設定が  : 無効  : 有効

本体設定項目について

充電停止充電率

車両のバッテリーに充電する上限値（充電を停止する値）を設定します。手動充電またはタイマー充電で充電を停止する充電率と、余剰電力充電またはグリーンタイマーで充電を停止する充電率を設定します。

- 手動充電、タイマー充電は 30% から 100% まで 5% ごとに設定できます（初期値 90%）。
- 余剰電力充電、グリーンタイマーは 50% から 100% まで 5% ごとに設定できます（初期値 100%）。

設定値に到達すると充電を停止します。

使用例：翌日の太陽光発電の余剰電力が見込まれる日などに、夜間の充電を少なくして、余剰電力で上限まで充電する。

メモ

- この設定値と車両の充電上限のうち、低い方が優先されて停止します。
- グリーンタイマー時の充電は、設定値が 100% でも 99% までの充電になります。

放電停止充電率

系統連系時の放電、自立運転時に放電を停止する充電率を設定します。

- 系統連系時は 0 から 80% まで 5% ごとに設定できます（初期値 30%）。
- 自立運転時は 0 から 30% まで 5% ごとに設定できます（初期値 10%）。

設定値に到達すると放電を停止します。

使用例：通常の使用では走行できる電力を残しておき、非常時は最大限放電に使用する。

メモ

- この設定値と車両の放電上限のうち、高い方が優先されて停止します。
- 数字を小さくするほど多くの電力が使用できますが、下限値まで放電した状態では車両の走行距離が短くなります。

余剰電力充電停止

余剰電力での充電時に発電量が減少するなどして充電電力が低下すると、車両側の消費電力が充電電力を上回りバッテリー充電率が低下する場合があります。運転中にバッテリー充電率が低下したときに、運転を停止する条件を設定します。設定は【自動】、【-1%】、【-2%】、【-3%】、【-4%】、【-5%】から選べます。

インテリ・放電制御

手動放電、タイマー放電運転中に家庭の消費電力が少ないときや、少なくなる時間があるときに、蓄積した消費電力状況のデータに基づき放電の開始 / 停止を制御します。停止中は系統からの電力供給になり、操作パネルの放電 LED が点滅を継続します。また、スマホアプリ、室内リモコンの本体状態の表示が【停止中（消費電力少ないため）】となります。

この設定が【無効】のときでも、EVPS は消費電力を常時計測しています。

【有効】にすると、蓄積したデータに基づき放電を制御します。

また、放電の開始 / 停止に伴う機械部品の消耗を考慮して消費電力が少ないときでも放電動作を継続することがあります。

インテリ・グリーン制御

グリーンタイマー中に家庭の消費電力が少ないときや、余剰電力が少ないときにグリーンタイマーの開始 / 停止を制御します。停止中は系統からの電力供給になります。

自動充電

余剰電力充電、グリーンタイマーをするときに、バッテリー充電率が低すぎると動作を継続できないことがあります。バッテリー充電率が本設定値以下で余剰電力が小さいときに、設定値まで系統電力を併用して充電します。

設定は【OFF】、【自動】、または 20% から 50% まで 5% ごとに設定できます。【自動】のときは、車両側で設定されている放電下限値より +2% まで充電します。【OFF】のときは自動充電しません。

プラグホルダ ボタン無効設定

プラグホルダの操作パネルのボタン操作を無効にします。必要に応じて無効にしたいボタンを選んでください。停電時には設定が解除されます。復電後に再度設定してください。

自立運転切替設定

停電検出時、コネクタロックで待機中及び充電・放電動作中に自動で自立運転を開始させる場合は【有効】にしてください。設定時の動きについては 38 ページを参照ください。

ECHONET Lite 設定

HEMS などで使用される ECHONET Lite 規格の通信設定です。HEMS などの機器を使用するときは【有効】にしてください。

本体時刻設定

EVPS の時刻を設定します。時刻は長く使用されるとずれることがあります。定期的に修正することをお勧めします。タイマー運転はここで設定した時刻に基づいて動作します。接続する HEMS の機種によって、本設定から時刻設定ができないことがあります。

自立試運転

自動切替開閉器で系統電力を切り離して停電を発生させて、停電時の自立運転動作を確認します。選択時の動きについては、49 ページを参照ください。

設定初期化

EVPS 本体設定を初期化します。接続先やアプリ設定は初期化されません。

接続車両

ご使用になる車両のタイプを設定します。設定する車両のタイプは弊社ホームページをご確認ください。QR コードから弊社ホームページにアクセスできます。（初期値 2）



メモ

- 接続する車両を適切に制御するため、必ず設定してください。
- 設定を変更するとタイマーがすべて OFF になりますので、再度タイマーを設定してください。

自動コネクタロック

充放電コネクタを車両に接続したときに自動でコネクタをロックします。設定を【有効】にしている場合でも車両の仕様または接続するタイミングによっては、自動でロックしないことがあります。そのときは、手動でロック操作をしてください。

履歴を確認する

スマホアプリで履歴を表示する

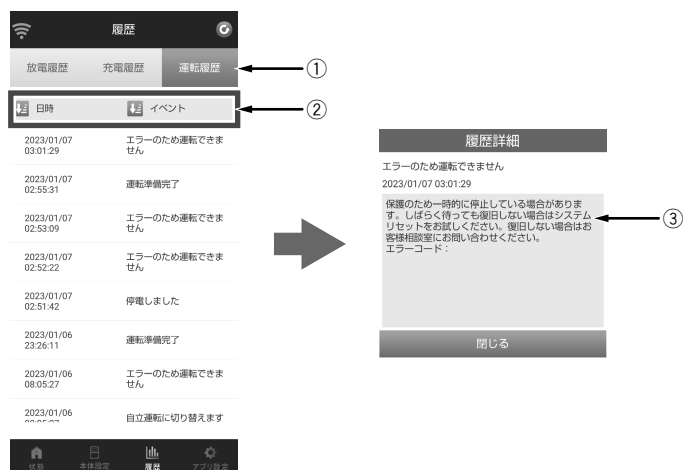
【履歴】をタップすると、【履歴】画面が表示されます。



番号	名称	機能
①	更新アイコン	履歴データを更新します。
②	履歴切替	放電履歴 / 充電履歴 / 運転履歴を切り替えます。
③	グラフ切替	放電履歴 / 充電履歴を選んだときに表示されます。 先月と今月、前年と今年のグラフを表示できます。
④	データ表示	放電履歴 / 充電履歴では kWh 単位で電力量をグラフ表示します。 車両側の電力消費は含みません。

スマホアプリで停止理由（エラー履歴）を確認する

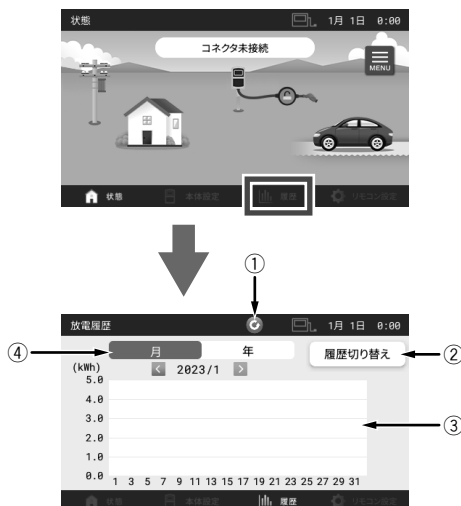
充電、放電などの動作が意図せず停止したときやエラー停止したときは、運転履歴の中から停止した時間をタップすると、履歴詳細とエラーコードが表示されます。運転履歴は更新アイコンを押すことで、最大 200 件表示します。最大件数を超えた場合は古いデータから削除されます。



番号	名称	機能
①	【運転履歴】	発生したイベントを表示します。8 件以上のイベントがあるときは、スクロールしてください。
②	ソート	日時、イベントごとに並び替えて表示します。
③	【履歴詳細】	発生したイベントの項目をタップすると、内容の詳細が表示されます。

室内リモコンで履歴を表示する

【履歴】をタッチすると、履歴画面が表示されます。



番号	名称	機能
①	更新アイコン	履歴データを更新します。
②	【履歴切り替え】	放電履歴 / 充電履歴 / 運転履歴を切り替えます。
③	データ表示	放電履歴 / 充電履歴では kWh 単位で電力量をグラフ表示します。 車両側の電力消費は含みません。
④	グラフ切替	放電履歴 / 充電履歴を選んだときに表示されます。 先月と今月、前年と今年のグラフを表示できます。

室内リモコンで停止理由（エラー履歴）を確認する

【履歴切り替え】で【運転履歴】を選ぶと、運転履歴の詳細を確認できます。充電、放電などの動作が意図せず停止したときやエラー停止したときは、運転履歴の中から停止した時間をタップすると、履歴詳細とエラーコードが表示されます。運転履歴は更新アイコンを押すことで、最大 200 件表示します。最大件数を超えた場合は古いデータから削除されます。



番号	名称	機能
①	ソート	日時、イベントごとに並び替えて表示します。
②	運転履歴	発生したイベントを表示します。4 件以上のイベントがあるときは、スクロールしてください。
③	【履歴詳細】	発生したイベントの項目をタップすると、内容の詳細が表示されます。

EVPS controller の設定

【アプリ設定】をタップすると、【アプリ設定】画面が表示されます。



番号	名称	機能
①	【アプリの起動中に画面を消さない】	アプリ起動中にスマホ画面の点灯を続けます。
②	【EVPS 時刻自動更新】	EVPS 本体の時刻設定をスマートフォンの時刻に合わせます。 EVPS 本体の時刻とスマートフォンの時刻が約 5 分～ 60 分ずれているときに更新されます。
③	【ソフトウェア情報】	IP アドレスなどが表示されます。
④	【接続先切り替え】	アプリで操作する EVPS を切り替えます。

室内リモコンの設定

【リモコン設定】をタッチすると、【リモコン設定】画面が表示されます。

設定するときは、運転を停止している必要があります。

運転しているときは、灰色になりタップできません。運転を停止してから操作してください。



番号	名称	機能
①	【画面設定】	リモコン画面の表示を OFF にする時間と、画面の明るさを設定します。
②	【操作音 / 通知音】	画面をタップしたときの音や、エラー検出などの通知音の ON/OFF を設定します。
③	【ソフトウェア情報】	

その他の操作

電源を入れる

本体専用漏電ブレーカを ON にします。

本体に電源が供給され、電力会社との協議で定められている時間（約 5 分間）経過後に充電 / 放電の動作ができるようになります。

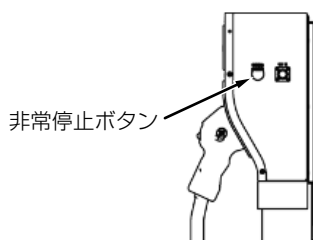
電源を切る

コネクタロックを解除して、車両からコネクタが取り外されていることを確認してください。

本体専用漏電ブレーカを OFF にすると本体の電源を切れます。

非常停止する

プラグホルダなどで停止操作をしても停止しないときは、非常停止ボタンを押すと動作を強制停止できます。



非常停止から復帰する

非常停止状態のときは、非常停止ボタンが押されたままになっています。非常停止を解除するときは、再度非常停止ボタンを押して元の状態に戻してください。

システムリセットする

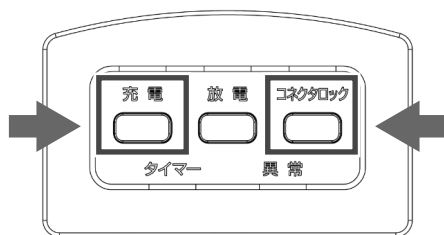
EVPS でエラー等を発報しているときは、下記内容でリセットしてください。

EVPS の動作が停止していることを確認してください。

操作パネルの【コネクタロック】ボタンと【充電】ボタンを同時に 3 秒以上押し続けてください。

【異常】以外の LED が点灯すれば、リセットの受付が完了です。

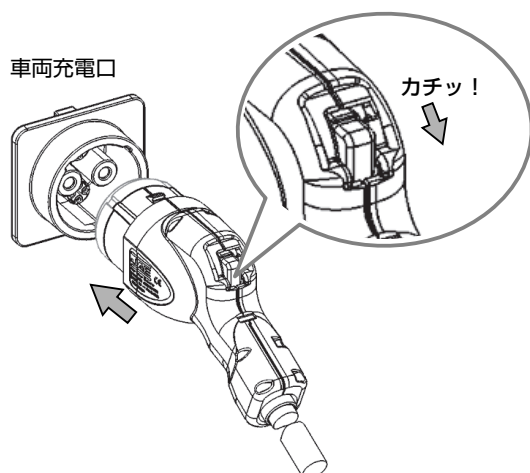
リセット後に電力会社との協議で定められている時間（最大 5 分間）は、EVPS は動作できません。



自立運転の試運転をする

【自立試運転】(43 ページ) で疑似的に停電が発生して、自立運転の試運転ができます。家電製品を追加したため停電時に使用できるかを確認したいときなどに使用してください。

1 充放電コネクタを車両に接続する



充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。
「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
詳しい接続方法は 22 ページを参照してください。

メモ

- 車両充電口にコネクタをしっかりと差し込んで抜けないことを確認してください。
- 車両によっては、下記の手順 2、3、5 の操作が不要ことがあります。車両の取扱説明書をご確認ください。不要なときは、手順 4 のみ操作してください。

2 プラグホルダに 12 V 電源ケーブルを接続する



プラグホルダ右側面の 12V_IN に 12 V 電源ケーブルを接続してください。

ふたは、左に回して手前に引くと取り外せます。

メモ

- 使用時以外は常時ふたを付けておいてください。

3 車両の電源ソケットに 12 V 電源ケーブルを接続する

車両の電源ソケットに付属品の 12 V 電源ケーブルを接続して、車両のパワースイッチを ACC (アクセサリ) にします。

メモ

- 車両のソケットの位置および接続、操作方法が異なるため、事前に車両の取扱説明書をご確認ください。

4 【自立試運転】を選ぶ

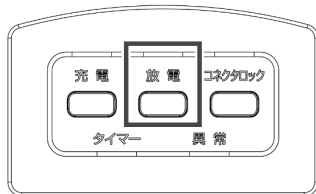


スマホアプリ、室内リモコンの【本体設定】から【自立試運転】を選びます。

注意事項が表示されますので、内容を確認してください。
【はい】を選ぶと、ご家庭が停電します。

5 放電を開始する

プラグホルダ（操作パネル）のとき



【放電】 ボタンを押します。
【放電】 LED が点滅します。
放電が開始すると、【放電】 LED が点灯します。

室内リモコンのとき

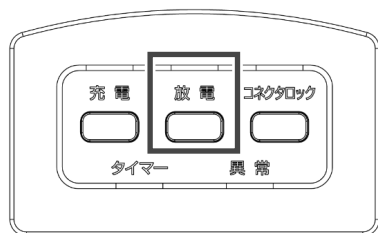


【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。
【操作メニュー】で【放電開始】をタッチします。
放電が開始すると、本体状態が【自立運転中】になります。

自立運転の試運転を停止する

1 自立運転を停止する

プラグホルダ（操作パネル）のとき



【放電】 ボタンを押します。

【放電】 LED が点滅します。

自立運転が停止すると、【放電】 LED が消灯します。

スマホアプリのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタップします。

【操作メニュー】 で【コネクタロック解除】をタップします。

室内リモコンのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】 で【停止】をタッチします。

こんなときは

コネクタがロックできない

コネクタロックができないときは、以下の項目を確認してください。

- 充放電コネクタが確実に車両に接続されているか。
- 普通充電用コネクタが接続されていないか。
- 車両がパーキングの状態、パワースイッチ（車両によって名称が異なります）が OFF になっているか。
- EVPS、車両が異常を発報していないか。
- 充放電コネクタに異物が付着していないか。
- 車両の 12V バッテリーの電圧が低下していないか。
 - 車両のロック等出来ない場合は、車両販売店にご相談ください。
- 充放電コネクタが凍結していないか。
 - 凍結により、充放電コネクタのロック機構が動作しないことがあります。そのときはドライヤーの温風を当てて解凍してください。ぬるま湯をかけて解凍することもできますが、充放電コネクタ内部に水分が入り込むと、内部で再凍結することがあります。充放電コネクタの電極部には、ぬるま湯がかからないようにしてください。

運転しない / できない

操作パネルのボタンを押しても反応がない

以下の項目を確認してください。

- 系統が停電していないか。
- 本体専用漏電ブレーカが OFF になっていないか。
- アプリ、室内リモコンで【プラグホルダ ボタン無効設定】（43 ページ）が【有効】になっていないか。

操作パネルのボタンを押すと LED が短く 2 回点滅する

押されたボタンによる操作が受付できないときに点滅します。以下の項目を確認してください。

- 運転開始処理中および運転終了処理中
 - しばらく待ってから再度操作してください。
- 【プラグホルダ ボタン無効設定】（43 ページ）が【有効】になっている
 - スマホアプリ、室内リモコンで設定を解除してください。
- 停電復旧確定待ちになっている
 - 系統が停電等の異常状態から復旧した後は、EV パワー・ステーションが電力会社との協議で定められている時間（約 5 分間）が経過するまで運転できません。
- 異常を発報中
 - 操作部の【異常】LED、スマホアプリ、室内リモコンで異常を発報しているときは運転できません。

運転開始するがすぐに停止する

以下の項目を確認してください。

- 放電非対応車を接続していないか。
 - 対応車種を確認してください。
- 車両の電池残量が多い / 少ない
 - 【充電停止充電率】、【放電停止充電率】（42 ページ）を適切に設定してください。
 - 充電、放電して、車両の電池残量を適正に調整してください。
- 車両側から運転停止指示がきている
 - 詳しくは車両の取扱説明書をご確認ください。以下は一例です。
 - 車両の電源が ON になっている
 - シフトノブがパーキング以外になっている
 - 普通充電ケーブルが接続されている

しばらくすると停止している

- 停電や瞬停が検出されたときは、運転を停止します。
- 【インテリ・放電制御】、【インテリ・グリーン制御】（43 ページ）が設定されていないか確認してください。

充電電力が少ない

以下のときは充電電力が少なくなることがあります。

- 家庭消費電力が増えたため、ご家庭のブレーカ容量を超えないように充電電流を制限する制御（インテリ・充電制御）が働いている。
- 車両のバッテリー充電率が上限付近または下限付近になっている。
- ご家庭に HEMS コントローラが設置されていて、HEMS コントローラからの指示によって充電電力が変更されている。
- 日射があるときや気温により本体内部の温度が上昇したため、保護のために充電電力を制限している。
- グリーンタイマー、余剰電力充電タイマーで太陽光発電などの余剰電力を充電するときに、発電量が少なくなっている。

放電電力が少ない

以下のときは放電電力が少なくなります。

- 家庭消費電力が少ない（本機は家庭消費電力を上限として放電します）。
- 太陽光パワーコンディショナ、蓄電システムなどの併設機器の動作による。
- ご家庭に HEMS コントローラが設置されていて、HEMS コントローラからの指示によって放電電力が変更されている。
- 日射があるときや気温により本体内部の温度が上昇したため、保護のために放電電力を制限している。
- インテリ・放電制御、インテリ・グリーン制御の設定が機能している。

余剰電力充電で電池残量が増えない / 減ることがある

太陽光発電電力が安定していないときは、電池残量が増えなかったり、減ったりすることがあります。

余剰電力充電は、家庭側で消費されなかった余剰電力で車両を充電します。余剰電力が十分にあるときに充電動作を開始しますが、充電動作を開始した後に余剰電力が減少すると充電を停止します。そのため、余剰電力が安定して発生する状況でなければ電池残量が増えません。また、余剰電力充電での充電開始 / 停止が一定回数を超えると余剰電力充電の運転を終了します。余剰電力の発生に増減が生じ充電の開始 / 停止を繰り返したり、充電していても余剰電力が低いときは、車両によっては車両の補機類（電池システムや通信システムなど）の消費電力によって逆に電池残量が減ったりすることがあります。

また、車両電池の充電率が低いときは、余剰電力充電がすぐに停止することがあります。そのときは、手動充電またはタイマー充電で車両に充電するか、自動充電設定を有効にして充電してください。

充電率 100% まで充電できない

- 車両によっては【充電停止充電率】（42 ページ）の設定を 100% に設定しても、充電率が 100% に到達する前に充電を停止することがあります。
- 充電時間帯に他の家電製品を多く使っているときは、電力契約によっては充電できる電力が不足することがあります。そのときは電力契約の見直しなど、お買い上げの販売会社にご相談ください。
- タイマー充電時間が短いなどで、100% まで充電できないことがあります。
- 【充電停止充電率】（42 ページ）の設定が低い値のときは、100% まで充電できません。
- グリーンタイマーのときは、最大 99% までの充電になります。

ブレーカが頻繁に落ちる

お買い上げの販売店へ点検をご依頼ください。

契約電力を変更するとき

ブレーカの容量を変更するときには、EVPS の設定の変更が必要になります。お買い上げの販売店にご相談ください。

車両が満充電後、放電できない

車両によっては、満充電後すぐには放電できないことがあります。しばらく時間を空けてから放電してください。

アプリが繋がらない

- EVPS のシステムリセットをしてください（48 ページ）。
- 無線 LAN ルータを再起動してください。
- EVPS が接続されている無線 LAN ルータの SSID にスマートフォンが接続されているか確認してください。

コネクタのロックが解除できない

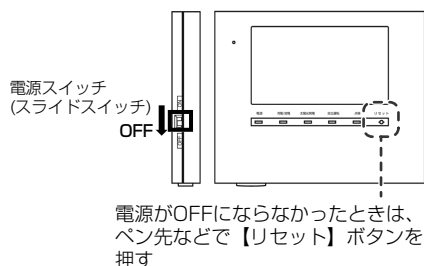
プラグホルダー ボタン無効設定が有効になっており、スマートフォンの紛失またはアプリ不通信によりロックが解除できない場合は、V2H 分岐用ブレーカを OFF、もしくは非常停止ボタンを押下頂き、コネクタのロックを解除してください。その後、ブレーカを ON、もしくは非常停止ボタンを再度押下していただき、解除してください。

室内リモコンが動かなくなったとき

室内リモコンのマイコンをリセットできます。

室内リモコンが動かなくなったときにのみ、以下の手順に従って操作してください。

1 電源スイッチを「OFF」にする

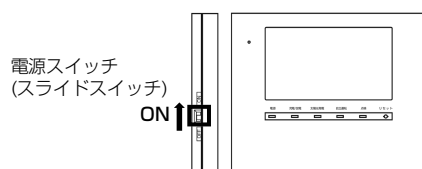


室内リモコンの電源スイッチを「OFF」すると、数秒で室内リモコンが OFF 状態になります。

メモ

- 室内リモコンの電源が OFF にならなかったときは、電源スイッチを OFF にした状態でペン先などで【リセット】ボタンを押してください。
- 数秒で室内リモコンが OFF 状態になったときは、【リセット】ボタンは押さないでください。

2 リセット後、電源スイッチを「ON」にする



メモ

- 室内リモコンの電源スイッチが「ON」の状態で【リセット】ボタンを押しても、室内リモコンのリセットは行いません。

充放電コネクタが取り外せなくなったとき

- 再度、コネクタロック解除操作をしてください。
- 一度充電または放電を実施してください。実施後、再度コネクタロック解除操作をしてください。
- プラグホルダー ボタン無効設定が有効になっており、スマホアプリや室内リモコンが使用できない状態になっていて解除できない場合は、V2H 分岐用ブレーカを OFF にしてください。

冬季の凍結について

冬季には凍結により、充放電コネクタが抜けなくなることがあります。その時は無理に抜こうとせずに充電 / 放電を停止してからドライヤーの温風を当てて解凍してください。ぬるま湯をかけて解凍することもできますが、充放電コネクタ内部に水分が入り込むと、内部で再凍結することがあります。充放電コネクタの電極部には、ぬるま湯がかからないようにしてください。

緊急離脱について

緊急のときは付属の充放電コネクタ緊急離脱工具を使用すると、充放電コネクタを取り外せます。

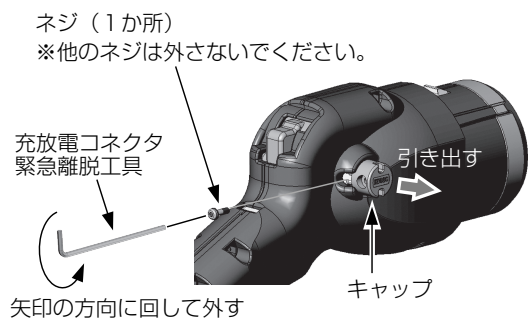
- 緊急離脱をすると充放電コネクタは利用できなくなります。必ず弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 保証期間中であっても、不具合以外の要因で緊急離脱をしたときのサービス対応費用はお客様負担となります。
エラーコードの 8 が出ている場合は、緊急離脱工具を使用せず、お客様相談室にご連絡ください
- 本書の【安全のために必ずお守りください】を作業前に必ずお読みください。
- 本書の記載内容を熟読して、手順に従って作業してください。
 - 充放電コネクタ緊急離脱工具の入った袋に取扱説明書が同封されています。
 - 【開封前に必ずお読みください】として下記を明示しております。開封された場合は下記内容に同意されたものとみなします。
 - ・緊急離脱をした充放電コネクタは使用できなくなります。
 - ・緊急離脱をしたときは、弊社による点検と内部スイッチ機能の回復が必要になります。

緊急離脱の手順

作業前に以下を確認してください。

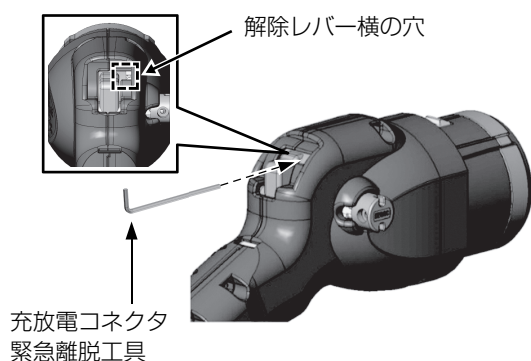
- 充放電が停止していること。
- 操作パネルの LED ランプがすべて消灯していること。
- 12 V 電源ケーブルが接続されていないこと。

1 充放電コネクタ緊急離脱工具を使用してキャップのネジを外して、キャップを引き出す



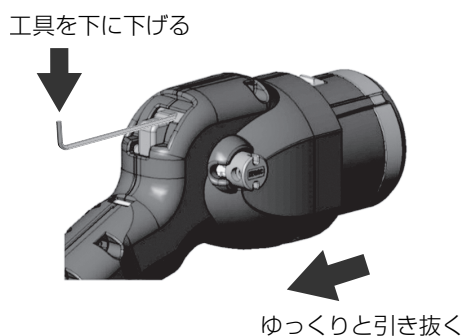
この操作（キャップを引き出す）をすると、充放電コネクタは使用できなくなります。弊社による機能の回復（有償）が必要になります。

2 キャップを引き出した後、解除レバー横の穴に充放電コネクタ緊急離脱工具を差し込む



穴の下面に沿うように差し込んでください。
奥まで差し込まないと取り出せないことがあります。

3 充放電コネクタ緊急離脱工具を下げながら、充放電コネクタをゆっくりと充電口から引き抜く



取り外し完了後は、必ず弊社お客様相談室にご連絡ください。

エラーコードによる対処方法

エラー停止したときは、下記の処置を行ってください。エラーコードの確認は 44、45 ページを参照してください。回復しない場合は本製品の故障が考えられます。お客様相談室に連絡していただく際には、画面に表示されるエラーコードをご連絡ください。

エラーコード	処置
1～7、9、10、13～17、20～89、106～108、110～116、123～195	システムリセット（48 ページ）を行ってください。繰り返し発生する場合は、製品についてのお問い合わせ（57 ページ）に記載の窓口にご連絡ください。
8	システムリセット（48 ページ）を行ってください。システムリセット後も充放電コネクタのロックが解除されない場合は、緊急離脱工具を使用せずに製品についてのお問い合わせ（57 ページ）に記載の窓口にご連絡ください。
11、171	非常停止ボタンが押されました。安全確認後、再度非常停止ボタンを押し戻してください。
18	車両との通信が確立できない状態です。充放電コネクタの差し込み状態を確認してください。繰り返し発生する場合は、製品についてのお問い合わせ（57 ページ）に記載の窓口にご連絡ください。
19	車両からの停止指示により停止しました。車両の状態をご確認ください。繰り返し発生する場合は、製品についてのお問い合わせ（57 ページ）に記載の窓口にご連絡ください。
93～104	自立運転の定格出力をオーバーしました。家電製品の電源を切り、EVPS を再起動してください。
105	太陽光パワーコンディショナの発電電力が、EVPS の上限を超えたため停止しました。停止を繰り返す場合は、太陽光パワーコンディショナを停止させて、EVPS を再起動してください。
109	自動切替開閉器部分のエラーです。10 分程度経過しても自動復帰しない場合は、自動切替開閉器の【復帰ボタン】を 1 回短押ししてください。復帰ボタンは 5 秒以上長押しをしないでください。
119～122	EVPS の温度が上昇している場合に表示されます。EVPS の周囲に放熱を妨げるものがある場合は、取り除いてください。

保証とアフターサービス

保証について

保証内容については保証書に記載しています。

保証書はサービスの際に必要なになりますので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- ご不明な点や修理のご相談
ご不明な点や修理のご相談は、お客様相談室にお問い合わせください。
製品以外の工事などのお問い合わせは販売店にご連絡ください。
- お客様相談室にお問い合わせされるとき
次のことをお知らせください。
 - 装置の型式と製造番号（Serial No.）
保証書添付のラベル、もしくは本体排気口付近添付のラベルをご確認ください。
 - 設置工事完了日
保証書をご確認ください。
 - 故障のときは、故障の状況（エラーメッセージ番号、故障発生時の運転状況、発生日時と天候など）

製品についてのお問い合わせ

本製品のお問い合わせやご相談は下記窓口にご連絡ください。

ニチコン株式会社 お客様相談室

TEL. 0120-215-030（フリーダイヤル）

受付時間 9:00 ～ 17:00 月曜日～金曜日（祝日、弊社休業日を除く）

機器仕様

パワーユニット、プラグホルダ

 R005-101763

		パワーユニット（壁掛、据置）	プラグホルダ（壁掛、ポール）
型番		VSG3-666CN7	
ケーブル		7.5 m	
外形寸法 (横幅：W×高さ：H×奥行：D)		W 470 mm × H 620 mm × D 200 mm (突起部除く)	W 160 mm × H 355 mm × D 160 mm (突起部除く)
重量		壁掛時合計：29.4 kg 据置時合計：30.5 kg	壁掛時合計：8.5 kg ポール時合計：12.2 kg
		パワーユニット：26.2 kg 壁掛金具：3.2 kg 据置金具：4.3 kg	プラグホルダ：7.9 kg 壁掛金具：0.6 kg ポール：4.3 kg
充電部 (系統連系時)	電気方式	単相 2 線式（接続は単相 3 線式）	
	定格電圧	AC 202 V ± 12 V	
	定格周波数	50 または 60 Hz	
	出力電力	6 kW 未満 ^{*1}	
放電部 家庭への放電（給電） (系統連系時)	電気方式	単相 2 線式（接続は単相 3 線式）	
	定格電圧	AC 202 V/AC 101 V	
	定格周波数	50 または 60 Hz	
	AC 出力電力	6 kW 未満 ^{*2}	
放電部 家庭への放電（給電） (自立出力時)	電気方式	単相 3 線式	
	定格電圧	AC 202 V/AC 101 V	
	定格周波数	50 または 60 Hz	
	AC 出力電力	6 kVA 未満（片相 3 kVA 未満） ^{*2}	
変換効率 (系統連系時)	EV (放電) ^{*3、*4}	94%（定格出力時）	
待機電力		15 W 以下	
EV 側電圧範囲		DC 150 V ~ DC 450 V	
不要輻射		VCCI Class B 準拠 ^{*5}	
IP 等級		IP55 相当	
設置環境	設置条件	屋外、標高 2000 m 以下 / - 20℃ ~ +50℃	
	塩害地設置	○（重塩害地：オプション ^{*6} ）	
	動作温度	- 20℃ ~ +50℃ ^{*7}	
周囲湿度		30% ~ 90%（結露なきこと）	
冷却方式		自然空冷	
運転時騒音		40 dBA 以下 ^{*8}	
操作		本体ボタン / スマートフォンアプリ ^{*9、*10} / 室内リモコン ^{*10} （オプション品）	
表示		LED 表示	
保証期間		10 年 ^{*11} （室内リモコンは 5 年）	

- ※ 1: 機器の入力値であり、実際の充電出力を保証している数値ではありません。契約電力や家庭での使用状況および車両の充電率によって異なります。
- ※ 2: 車両の状況により電力が低下することがあります。
- ※ 3: 車両側にて各種システム（バッテリー保護機能等）を動作させるために数百 W の電力を消費します。
- ※ 4: 定格出力以下の場合は変換効率が低下する場合があります。
- ※ 5: 受信障害になることがありますので、ラジオ、テレビ、アマチュア無線などの電波を利用する機器とはパワーユニットから 3 m 以上離して設置してください。
- ※ 6: 海水のしぶきが直接あたるような場所には設置できません。
- ※ 7: 直射日光などの高温時、充放電電力量が抑制されることがあります。
- ※ 8: JIS C1509-1 で規定する A 特性サウンドレベルを示します。製品正面中央から 1 m、高さ 1 m の距離での測定値です。
- ※ 9: スマートフォンアプリは室内でのみ使用可能です。
- ※ 10: スマートフォンアプリ、室内リモコンは 60 日に 1 回、車両が接続されていないタイミングで再起動します。再起動中には各種操作ができなくなります。再起動は 1 ~ 2 分で完了します。
- ※ 11: 「事前確認書」「設置完了報告書」が提出されていること。

自動切替開閉器

型番	ES-B8E	
外形寸法（横幅：W×高さ：H×奥行：D）	W 76 mm × H 70 mm × D 160 mm	
本体重量	865 g	
設置環境	設置条件	室内 － 5 ～＋ 40℃、結露なきこと
	動作温度	－ 5 ～＋ 40℃

室内リモコン（オプション品）

型番	VSG3-RREM01	
外形寸法（横幅：W×高さ：H×奥行：D）	W 170 mm × H 140 mm × D 23 mm	
本体重量	320 g（取付金具含まず）	
設置環境	設置条件	室内 0 ～＋ 40℃、結露なきこと
	動作温度	0 ～＋ 40℃

ソフトウェアライセンスについて

Ubiquitous ECHONET Lite ライセンス

本製品は、株式会社ユビキタス AI コーポレーションが権利を保有するソフトウェアプログラム Ubiquitous ECHONET Lite を使用しております。

Ubiquitous ECHONET Lite
Copyright© Ubiquitous Corp. All rights reserved.

GPL/LGPL のライセンス

本製品は、一部に GPL/LGPL の適用オープンソースを使用しており、これらのオープンソースに限っては、GPL/LGPL の定めに従い、入手、改変、再配布の権利がお客様にあることをお知らせします。

オープンソースとしての性格上、著作権による保証はなされておりませんが、本製品については保証書記載の条件により、弊社による保証がなされています。

詳しくはニチコンユーザーサポートをご参照ください。

nichicon

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845

<http://www.nichicon.co.jp>

TP1960RMNLO1002